

消防年報

令和4年度版



出初式（ドローン空撮）
令和5年1月15日

 伊勢市消防本部

はじめに

この年報は、伊勢市消防本部の現勢と令和4年（度）中の消防、救急、救助等の活動概況を収録したもので、広く消防情報として管内の住民の皆様と関係者に提供し、消防行政に対する御理解をいただくと共に防火防災思想の普及啓発に供していただくために発刊いたします。

令和5年6月

伊勢市消防本部

一 目 統 計

予 算 機 構	消防予算	署 所	消防吏員数	消防団員数
	常備消防費 1,884,530 千円 非常備消防費 132,547 千円 消防施設費 94,658 千円 水防費 17,847 千円 災害対策費 201,520 千円	消防本部 1 消防署 1 分 署 3 出張所 3	定員 216 人 実員 200 人	定員 559 人 実員 504 人 (女性団員 16 人)

火 災 救 急 救 助	火災件数	出火原因	救急件数 搬送人員	救助件数 救助人員
	42 件 建 物 24 件 林 野 0 件 車 両 6 件 その他 12 件	1 こんろ 5 件 2 たき火 4 件 3 放火の疑い 4 件	9,172 件 8,456 人 1 日平均 25.1 件	95 件 65 人

そ の 他	管轄区域	水 利	幼年消防クラブ
	伊 勢 市 玉 城 町 度 会 町	4,885 施設 消火栓 3,915 防火水槽 694 (内、耐震 259) その他 276	14 クラブ 546 人

目 次

1	伊勢消防のあらまし	1
	位置・地勢	2
	伊勢消防のあゆみ	3
	主要災害の記録	12
	消防庁舎	15
	消防本部・消防署の配置	17
2	消防情勢	18
	消防本部・消防署の組織	19
	消防本部・消防署の事務分掌	20
	消防団組織	21
	消防予算の概要	22
	消防吏員配置状況	23
	消防吏員の階級別年齢構成	24
	消防吏員の階級別勤続年数	25
	学校等研修状況	26
	派遣研修状況、応急手当普及啓発関係	27
	消防吏員技術資格取得状況	28
	消防機械の状況	29
	消防水利状況	31
	消防無線	33
	消防力の整備指針	35
	消防職員委員会	36
3	予 防	37
	防火対象物の推移と立入検査状況	38
	消防用設備等設置状況	39
	防火対象物立入検査状況	40
	中高層建物一覧表	41
	訓練指導状況、幼年消防クラブ現況	42
	消防同意月別処理状況、消防同意市町別処理状況	43
	消防同意用途別処理状況	44
	届出事務月別処理状況	45
4	危険物	46
	過去10年間危険物施設別の推移	47
	数量別危険物施設状況	48

危険物施設許認可等申請状況	49
危険物製造所等施設別設置状況	
危険物関係各種届出処理状況	50
危険物製造所等立入検査状況	
少量危険物及びプロパンガス施設数	
5 火 災	51
累年火災概況	52
月別火災概況	53
火災種別・出火原因別件数	54
原因別件数、時間別件数	55
覚知別件数、初期消火別件数	56
曜日別件数、建物用途別件数	
6 救急・救助	57
市町別月別救急出動件数	58
過去5年間の救急出動件数及び搬送人員	
事故種別月別救急出動件数、事故種別月別搬送人員	59
事故種別時間別救急出動件数	60
事故種別曜日別救急出動件数	
事故種別市町別救急出動件数	61
年齢性別搬送人員、事故種別程度別搬送人員	
応急処置件数、救急救命処置実施件数	62
月別傷病程度別搬送人員	63
市町別月別救助出動件数、事故種別月別救助出動件数	64
事故種別救助出動状況、市町別救助出動状況	65
月別救助出動状況、過去5年間の救助出動状況	
7 消防団	66
階級別勤続年数、階級別年齢構成	67
消防機械の状況	68
消防団車庫	70
団員職業構成	72
就業形態、出動件数、女性消防団員出動件数	73
報酬・手当	74
消防団現勢	75
広域消防団現勢	76

1

伊勢消防のあらまし

当市は、明治 39（1906）年 9 月 1 日に市制施行により宇治山田市となり、常備消防は、昭和 24 年 4 月 1 日「宇治山田市消防本部」として発足しています。

昭和 30 年 1 月 1 日に市名を伊勢市に改称し「伊勢市消防本部」となり、昭和 50 年に近隣の二見町、小俣町、玉城町、度会町、御園村から消防事務を受託し、1 市 4 町 1 村の広域消防体制となりました。

平成 17 年 11 月 1 日に伊勢市、二見町、小俣町、御園村が合併し、新「伊勢市」となり、玉城町、度会町から消防事務を受託し、1 市 2 町の広域消防体制となりました。

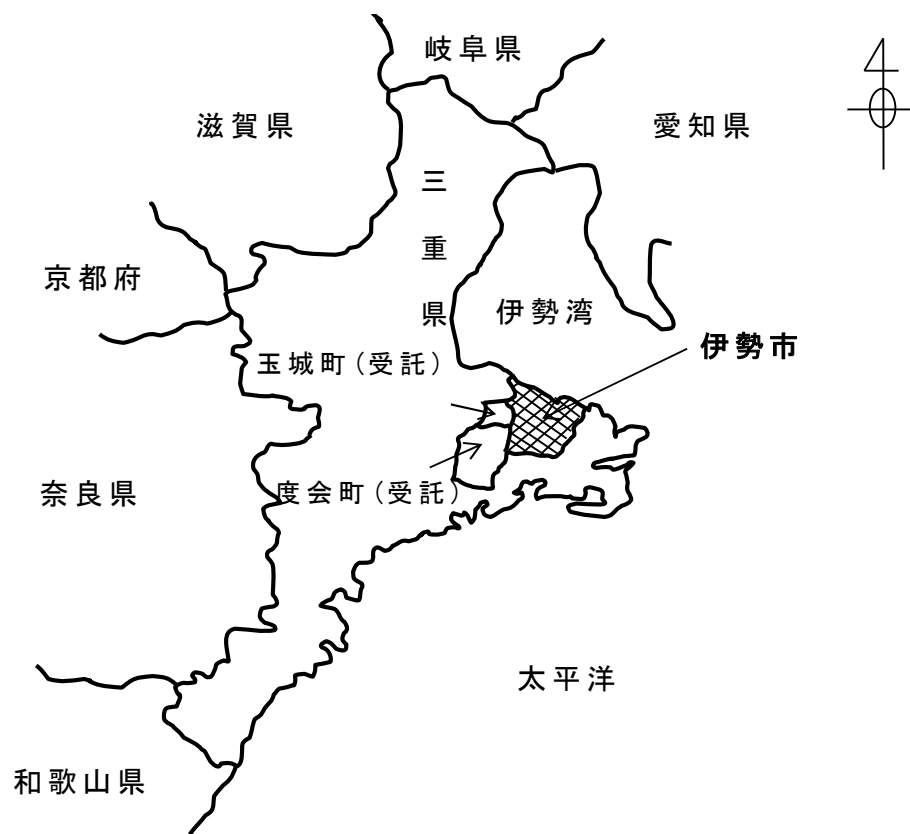


昭和 14 年 消防組解組式

位置・地勢

伊勢市は、伊勢平野の南端部に位置し、鳥羽市、志摩市及び多気郡、度会郡と隣接しており、面積は 208.37 km²に及んでいます。

伊勢志摩国立公園の玄関口にあたり古くから「お伊勢さん」として広く親しまれてきたまちで、海、川、森の自然に恵まれています。



伊勢消防のあゆみ

昭和24年	4月1日	宇治山田市消防本部（署）発足 消防職員22名、消防ポンプ自動車2台 初代消防長 永澄節氏（市助役兼任）
	12月1日	職員定数 27名
昭和25年	1月26日	消防ポンプ自動車購入（更新）
	3月31日	消防委員会発足 委員11名
昭和26年	2月26日	消防ポンプ自動車購入（更新）
	7月14日	西田一雄氏 2代目消防長に就任（消防団長兼任）
	7月20日	消防出張所（西）開設 職員8名配置
	12月30日	職員定数 39名
昭和27年	3月31日	消防団定数改正（11分団202名）
昭和29年	1月2日	気象観測開始
	3月～5月	お伊勢博覧会警備（60日間）
	4月1日	職員定数 43名
	5月27日	水槽付消防ポンプ自動車購入
昭和30年	1月1日	市名を改称し伊勢市となる 町村合併 度会郡豊浜村、北浜村、城田村、四郷村
	4月1日	町村合併 度会郡沼木村 職員定数 46名
	6月20日	職員定数 48名
	7月1日	中田節太郎氏 3代目消防長に就任
	12月5日	消防協議会が発足（消防委員会に代わり）委員7名
昭和31年	2月1日	川合藤七氏 消防団長に、坂倉武雄氏、戸上勝次氏 消防副団長に就任
	12月6日	北野孝郎氏 4代目消防長に就任（市助役兼任）
	12月18日	消防団葬（団長 川合藤七氏死去）
昭和32年	1月25日	坂倉武雄氏 消防団長に就任
	7月1日	消防団機構改革（町村合併により定員363名）
昭和33年	3月～5月	昭和参宮博覧会警備（50日間）
昭和34年	3月7日	自治体消防制度発足10周年記念行事
	12月26日	消防ポンプ自動車購入（更新）
昭和35年	4月1日	消防団員定数改正（345名）
	12月9日	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受ける
昭和36年	9月1日	清水英夫氏 消防団長に就任
	10月1日	西本斎太郎氏 消防副団長に就任
昭和37年	4月10日	牧寿二氏 5代目消防長に就任
	8月13日	職員定数 50名
	11月1日	消防委員会に改組（消防協議会に代わり）委員11名
	12月25日	消防ポンプ自動車購入（中型車更新）
昭和38年	4月1日	職員定数 60名
昭和39年	2月24日	消防出張所（北）開設 職員10名配置
	6月28日	消防団員等公務災害補償等共済基金契約を締結

	8月20日	救急業務開始
	9月1日	超短波無線業務開始
	12月26日	消防団機構改革（旧市内の分団統合および名称の変更）定数改正により335名となる
昭和40年	1月26日	重要文化財防火デーとして朝熊町金剛證寺で消防訓練
	4月10日	消防団員階級規則改正により副分団長制を新設
	5月1日	「防災いせ」創刊（消防広報紙）
	10月13日	救急自動車購入
昭和41年	4月～5月	御遷宮用材 お木曳き警備
	7月11日	職員定数 64名
昭和42年	11月25日	水槽付消防ポンプ自動車購入（西出張所）
昭和43年	4月6日	西出張所完成（宮町から中島町へ新築移転）
	4月30日	消防庁舎移転（近鉄宇治山田駅舎から旧観光物産館）
	7月1日	鈴木孝造氏 6代目消防長に就任
	11月20日	副士長制実施 3名任命
	12月5日	職員定数 67名
昭和44年	1月24日	消防同友会結成（会長に藤波孝生氏就任）
	7月3日	救急自動車購入
	12月1日	職員定数 73名
	12月7日	はしご付消防自動車購入
昭和45年	6月12日	防火協会設立（会長に村田仙右衛門氏就任）
	6月20日	防火ポスターを市内小・中学校に募集開始
	8月8日	消防本部（署）庁舎建設起工式
	8月17日	広報車の寄贈を受ける（防火協会）
	11月12日	水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受ける（日本損害保険協会）
	12月1日	西本斎太郎氏 消防団長に、中村比呂誌氏 消防副団長に就任
昭和46年	3月10日	化学消防ポンプ自動車購入
	5月1日	消防本部（署）庁舎完成 課制実施（総務課・消防課の2課を設ける）職員定数79名
昭和47年	7月20日	職員定数 85名
	10月1日	救急自動車購入（更新）
昭和48年	4月1日	職員定数 90名
	7月18日	消防ポンプ自動車購入（更新）
	7月20日	広報車の寄贈を受ける（坂田義則氏）
	8月18日	御遷宮用 お白石持警備（13日間）
	9月11日	救急自動車の寄贈を受ける（三重県農業共済組合連合会）
昭和49年	4月1日	職員定数 94名
	7月26日	広報車の寄贈を受ける（防火協会）
昭和50年	4月1日	広域消防発足（隣接の度会郡二見町、小俣町、玉城町、度会町、御園村から事務委託を受ける）広域消防発足に伴い職員定数は150名となる
	8月5日	指令装置完成
	9月10日	救急自動車の寄贈を受ける（日本消防協会）
	9月12日	消防出張所（玉城）開設 職員10名配置
	10月10日	国民体育大会（秋季）警備（8日間）

	11月1日	救急自動車の寄贈を受ける（日本自動車工業会）
	11月25日	消防出張所（度会）開設 職員10名配置 救急自動車の寄贈を受ける（三重県農業共済組合連合会）
昭和51年	3月1日	消防出張所（小俣）開設 職員10名配置
	3月22日	消防出張所（二見）開設 職員10名配置
	4月5日	吉田國員氏 7代目消防長に就任
	10月12日	中村比呂誌氏 消防団長に、宮村孝夫氏 消防副団長に就任
昭和52年	4月1日	職員定数 153名 消防本部に予防課を新設 3課制とした 5当務2公休制実施
	7月15日	広報車の寄贈を受ける（防火協会）
	10月27日	消防ポンプ自動車購入 北出張所
	11月1日	三病院輪番制実施
	12月15日	救急自動車の寄贈を受ける（日本損害保険協会）
昭和53年	8月10日	水槽付消防ポンプ自動車購入（防衛施設庁補助）
	9月22日	消防ポンプ自動車購入 二見出張所
	11月29日	消防用地購入（消防本部隣接地 696㎡）
	12月2日	防災車の寄贈を受ける（東京海上火災保険）
昭和54年	1月31日	消防救助技術訓練塔建設（鉄骨製17m）
	3月6日	耐震性貯水槽（100t）設置（奥新町公園）、曾祢防災隊結成
	4月3日	自治体消防発足30周年記念行事式典協賛行事を実施（宮川堤公園）
	12月6日	耐震性貯水槽（100t）設置（厚生公園）、厚生防災隊結成
昭和55年	4月1日	職員定数 163名
	5月23日	行幸啓警備（植樹祭に伴うもの）
	10月14日	水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受ける（日本損害保険協会）
	11月28日	耐震性貯水槽（100t）設置（浜田公園）、船江防災隊結成
	12月25日	広報車（団本部車）の寄贈を受ける（防火協会）
昭和56年	3月5日	救急自動車の寄贈を受ける（日本損害保険協会）
	4月1日	職員定数 173名（消防吏員172名、その他職員1名）
	4月4日	高橋英夫氏 8代目消防長に就任
	8月10日	出張所庁舎（玉城）新築移転
	12月14日	耐震性貯水槽（100t）設置（早修児童公園）、早修防災隊結成
昭和57年	6月10日	広報車購入（本部予防課に配備）
	10月3日	消防ポンプ自動車（中型）購入（度会出張所に配備）
	12月1日	救急医療情報システム導入 消防署に分署制を設けた（小俣出張所が分署に昇格）
	12月23日	小俣分署庁舎新築移転
昭和58年	1月10日	耐震性貯水槽（100t）設置（旭児童公園）、駅北防災隊結成
	8月5日	救急自動車の寄贈を受ける（日本消防協会）
	9月1日	三重県・伊勢市合同防災訓練（五十鈴川河畔）
	9月9日	耐震性貯水槽（100t）設置（岡本公園）、明倫防災隊結成
	12月9日	消防事務連絡車（2台）の寄付を受ける（防火協会）

昭和 59 年	3 月 31 日	車庫兼倉庫完成
	9 月 6 日	災害対策輸送車の寄贈を受ける（伊勢市医師会）
	10 月 4 日	行啓警備（豊漁祭に伴うもの）
	12 月 14 日	耐震性貯水槽(100t)設置(中島小学校)、西部防災隊結成
昭和 60 年	3 月 1 日	嶋垣清美氏 消防副団長に就任
	6 月 1 日	大橋尚氏 消防委員会委員長就任
	7 月 6 日	防災指令車購入（署に配備）
	12 月 18 日	水槽付消防ポンプ自動車購入（防衛施設庁補助、小俣分署配備）
	12 月 19 日	三重県防災行政無線運用開始
昭和 61 年	4 月～5 月	御遷宮用材のお木曳き警備
	11 月 29 日	広報車の寄贈を受ける（防火協会）
	12 月 20 日	消防ポンプ自動車購入（中型） 本署に配備（防衛施設庁補助）
昭和 62 年	3 月 17 日	救急自動車の寄付を受ける（三重県農業共済組合連合会）
	4 月 1 日	職員定数 172 名
	4 月 4 日	西村保男氏 9 代目消防長に就任
	5 月～6 月	第 2 次御遷宮用材お木曳き警備
	10 月 18 日	はしご付消防自動車購入（35m級）（消防庁補助）
昭和 63 年	3 月 5 日	救急自動車の寄付を受ける（日本損害保険協会）
昭和 64 年	1 月 6 日	消防緊急情報システム（Ⅱ型）導入
平成 元年	3 月 29 日	救急自動車購入 小俣分署に配備
	4 月 1 日	消防本部通信指令室を課に昇格し 4 課制とした 伊藤顯氏 消防副団長に就任
	5 月 1 日	隔週週休 2 日制実施（毎日勤務） 4 当務 2 公休制実施（交替制勤務）
平成 2 年	3 月 1 日	消防本部に課長補佐制度を導入
	3 月 30 日	三重県消防大会を伊勢市で開催
	8 月 26 日	三重県、伊勢市、南勢支会合同防災訓練（上野町）
	10 月 4 日	伊勢市幼年消防クラブ結成（有緝幼稚園、船江、みどり保育園）
	10 月 8 日	全国消防長会技術委員会を伊勢市で開催
	10 月 25 日	水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受ける（日本損害保険協会）
	11 月 20 日～29 日	行幸啓警備（天皇即位の礼に伴うもの）
平成 3 年	1 月 23 日	消防ポンプ自動車購入（防衛施設庁補助）玉城出張所配備
	2 月 22 日～28 日	行啓警備（立太子の礼に伴うもの）
	3 月 22 日	救急自動車の寄贈を受ける（日本自動車工業会）玉城出張所配備
	8 月 1 日	前川文男氏 消防副団長に就任
	10 月 28 日	伊勢市幼年消防クラブ結成（大湊、東大淀保育園）5 園となる
	12 月 10 日	救急自動車の寄贈を受ける（勢田町 辻村弘夫氏）本署に配備
平成 4 年	1 月 18 日	多目的防災車の寄贈を受ける（三重県遊技業協同組合伊勢支部）
	2 月 14 日	消防ポンプ自動車購入 北出張所に配備（県単独補助事業）
	2 月 20 日	救急自動車の寄贈を受ける（安田生命相互保険会社）本署に配備
	4 月 3 日	三浦登美男氏 10 代目消防長に就任
	7 月 31 日	指揮広報車の寄贈を受ける（日本消防協会）
	8 月 30 日	伊勢市総合防災訓練（小木町）

9月19日~20日	世界タートルマラソン伊勢大会消防警備
10月23日	第14回幼年消防全国大会
11月1日	週休2日制完全実施（毎日勤務） 3当務2公休13指定公休制実施（交替制勤務）
12月8日	レコーディングレサシアン（蘇生法訓練用人形）2体の寄贈を受ける（三重県遊技業協同組合伊勢支部）
平成5年2月17日	水槽付消防ポンプ自動車購入（防衛施設庁補助）二見出張所配備
4月1日	西分署庁舎新築移転 三重県世界祝祭博覧会推進局に職員1名派遣 三重県防災航空隊発足
4月2日	伊勢市コミュニティ消防センター（西分署）開設
5月27日	救急救命士誕生
6月7日	伊勢市消防団長が三重県消防協会南勢支会長に就任
6月25日~26日	行啓警備（皇太子殿下御成婚の報告に伴うもの）
7月19日	防火広報車の寄贈を受ける（日本防火協会）
7月27日	資機材搬送用トラック購入
8月18日	消防指令広報車の寄贈を受ける（日本消防協会）
7月31日~8月30日	御遷宮用 お白石持警備
10月26日	伊勢市幼年消防クラブ結成（佐八・村松保育園・暁の星幼稚園）8園となる
12月8日	消防救急装備品の寄贈を受ける（三重県遊技業協同組合伊勢支部）
平成6年3月10日	高規格救急自動車購入 本署に配備（消防庁補助）
3月7日~29日	行幸啓警備（御遷宮に伴う天皇・皇后両陛下の神宮参拝）
4月1日	消防団副団長複数制施行（3名）佐藤幸弘氏、羽田肇氏 消防副団長に就任 本署に救急救命士を配置
4月17日	伊勢二見鳥羽ライン開通
5月30日	救急自動車の寄贈を受ける（伊勢ライオンズクラブ）
6月28日	三重県消防団長会議を伊勢市で開催
7月6日	救急自動車の寄贈を受ける（三重県農業共済組合連合会）
7月~11月	世界祝祭博覧会に伴い消防警備（108日間）
8月5日	伊勢市消防本部気象観測史上最高気温を記録（40.3℃）
8月28日	伊勢市総合防災訓練（磯町地内）
10月1日	伊勢市幼年消防クラブ結成（一色保育園）9園となる
11月7日	救急自動車の寄贈を受ける（祝祭博覧会協会）
12月12日	潜水用資機材の寄贈を受ける（三重県遊技業協同組合伊勢支部）
12月16日	救助工作車購入 本署に配備（消防庁補助）
平成7年1月17日	兵庫県南部地震発生に伴い神戸市に救助隊派遣（21日間 延べ人員112名）
9月27日	伊勢市幼年消防クラブ結成（たけのこ保育園）10園となる
10月20日	気象観測装置を導入
12月11日	資機材搬送車の寄贈を受ける（三重県遊技業協同組合伊勢支部）

平成 8 年	3 月 26 日 4 月 22 日 9 月 1 日 10 月 1 日 11 月 1 日 11 月 27 日 12 月 10 日	化学消防ポンプ自動車購入（防衛施設庁補助） 西分署配備 三重県緊急消防援助隊が結成される 緊急消防援助隊救助部隊登録（救助工作車） 伊勢市総合防災訓練（黒瀬町） 消防団員定数 345 名 消防職員委員会制度発足 女性消防団員（10 名）誕生 伊勢市幼年消防クラブ結成（豊浜西保育所、中須保育園）12 園となる レスキュー用水上バイクと緊急搬送用膨張ストレッチャーの寄贈を受ける（三重県遊技業協同組合伊勢支部）
平成 9 年	2 月 24 日 3 月 7 日 4 月 4 日 5 月 20 日 6 月 27 日 7 月 3 日 10 月 28 日	消防救助訓練棟完成 消防ポンプ自動車購入（防衛施設庁補助） 度会出張所配備 中島格氏 11 代目消防長に就任 伊勢市消防団長が三重県消防協会会長就任 防災指揮車購入 本署に配備 乾英夫氏 伊勢防火協会 2 代目会長に就任 伊勢市幼年消防クラブ結成（マリア保育園、有滝保育園）14 園となる
平成 10 年	6 月 1 日 7 月 1 日 9 月 1 日 10 月 9 日	伊勢幼年消防クラブに名称変更 三重県内消防相互応援協定締結 三重県・伊勢市総合防災訓練（サンアリーナ・四郷会場） 伊勢幼年消防クラブ結成（和順幼稚園）15 園となる
平成 11 年	1 月 18 日 3 月 15 日 12 月 17 日	第 3 回防災まちづくり大賞（消防科学総合センター理事長賞）を厚生防災隊宮後第 1 分隊受賞 消防本部庁舎の耐震工事完成 消防同友会会長藤波孝生氏退任 中村比呂誌氏就任
平成 12 年	4 月 1 日 6 月 8 日 9 月 1 日	機構改革により消防本部が総務課・消防課・予防課の 3 課制となる 新消防緊急通信指令システムⅡ型稼働（防衛施設庁補助） 全国消防長会技術委員会を伊勢市で開催 消火通報訓練指導車（消すゾウ君）の寄贈を受ける（日本宝くじ協会）
平成 13 年	2 月 9 日 4 月 1 日 4 月 4 日	表彰旗を授与される（日本消防協会） 佐藤幸弘氏 消防団長に、岩崎進氏、上之郷宏也氏 消防副団長に就任 中村孝氏 12 代目消防長に就任
平成 14 年	2 月 14 日 3 月 12 日 11 月 19 日 12 月 10 日	標準型救急自動車購入 二見出張所配備 水槽付消防ポンプ自動車購入（防衛施設庁補助）小俣分署配備 救急自動車購入費用の寄付を受ける（故）原 貞 様 軽自動車（アルト）の寄贈を受ける（三重県遊技業協同組合伊勢支部）
平成 15 年	3 月 11 日	高規格救急自動車の更新（防衛施設庁補助） 本署配備

平成 16 年	2 月 26 日 3 月 1 日 3 月 31 日 4 月 2 日 5 月 28 日 6 月 22 日 11 月 17 日	高規格救急自動車購入（防衛施設庁補助） 小俣分署配備 機構改革 小俣分署に救急専任隊を配置 小俣分署に救急救命士を配置 伊勢幼年消防クラブ退会（有緝幼稚園）14 園となる 山川和俊氏 13 代目消防長に就任 乗用車（プリウス）購入 伊勢幼年消防クラブ退会（暁の星幼稚園）13 園となる 水槽付消防ポンプ自動車購入（防衛施設庁補助）本署配備
平成 17 年	3 月 7 日 4 月 1 日 4 月 26 日 5 月 31 日 8 月 2 日 9 月 22 日 11 月 1 日	消防団車庫建設用地の寄付を受ける（柏町 安井保様） 伊勢幼年消防クラブ結成（ゆたか幼稚園）14 園となる 緊急消防援助隊消火部隊登録（本署水槽付消防ポンプ自動車） 三重県消防協会南勢支会長に伊勢市消防団長佐藤幸弘氏が就任 中村満寿氏 伊勢防火協会 3 代目会長に就任 連絡用軽自動車（ミニカ）の寄付を受ける（伊勢防火協会） 資材搬送車（サンバー）購入 伊勢市、二見町、小俣町、御園村が対等合併し伊勢市となる 伊勢市消防団、二見町消防団、小俣町消防団、御園村消防団が 統合し伊勢市消防団となる。団員定数 559 名、佐藤幸弘氏 消 防団長に、羽田肇氏、岩崎進氏、上之郷宏也氏、中西将文氏、 出口一徳氏、大東正幸氏 消防副団長に就任 玉城町、度会町から消防事務を受託 合併に伴い消防委員会解散
平成 18 年	1 月 11 日 4 月 1 日	高規格救急自動車の購入（防衛施設庁補助）二見出張所配備 女性消防団員 7 名入団（公募採用）、12 名となる
平成 19 年	4 月 1 日	西田恒郎氏 14 代目消防長に就任
平成 20 年	3 月 27 日 4 月 1 日	出張所庁舎（二見）新築移転 職員定数 190 名 伊勢市消防団再編（30 分団から 22 分団へ） 佐藤幸弘氏 消防団長に、中西克秀氏、矢形雄紀氏、 大東正幸氏、中西将文氏、出口一徳氏、羽田肇氏、岩崎進氏、 上之郷宏也氏 消防副団長に就任 救急救命士資格者採用
平成 21 年	2 月 27 日 3 月 2 日 4 月 1 日 12 月 29 日	高規格救急自動車購入（防衛省補助） 御園分署配備 水槽付消防ポンプ自動車購入 御園分署配備 保田幸宏氏 15 代目消防長に就任 御園分署庁舎新築移転 御園分署に救急救命士を配置 水路管付先端屈折梯子車購入（35m級）本署配備 （地域活性化交付金）

平成 22 年	2 月 24 日	高規格救急自動車購入(発電用施設周辺地域振興事業費補助金) 本署配備
	3 月 30 日	高規格救急自動車購入(地域活性化交付金) 度会出張所配備
	4 月 1 日	広報車(ラフェスタ)購入(緊急地震対策補助) 本部配備 機構改革により消防本部が総務課・消防課・通信指令課・予防課の 4 課制となる 消防署副署長 3 名体制導入
平成 23 年	2 月 23 日	高規格救急自動車購入(防衛省補助) 玉城出張所配備
	2 月 28 日	後方支援車(ハイエース)購入(社会資本整備総合交付金) 本部配備
		火災原因調査車(ハイエース)購入(社会資本整備総合交付金) 本部配備
	3 月 3 日	指揮車購入(社会資本整備総合交付金) 本署配備 出張所庁舎(度会)新築移転
	3 月 11 日	東日本大震災発生に伴う消防庁長官指示により、緊急消防援助隊派遣 (千葉県市原市及び宮城県仙台市へ 11 日間 救助隊・消火隊・後方支援隊 延べ人員 132 名)
	3 月 15 日	救助工作車購入(地域活力基盤創造交付金) 本署配備
	4 月 1 日	西分署、二見・玉城・度会出張所に救急救命士を配置 (全署に救急救命士を配置完了) 通信指令課 3 係体制導入
	4 月 20 日	新谷琴江氏 消防副団長に就任
	10 月 28 日	署隊本部車(フィットシャトル)購入
平成 24 年	2 月 29 日	水槽付消防ポンプ自動車購入(緊急消防援助隊設備整備費補助金) 二見出張所配備
		水槽付消防ポンプ自動車購入(防衛省補助) 玉城出張所配備
	4 月 1 日	大西邦生氏 16 代目消防長に就任 上之郷宏也氏 消防団長に、藪谷忠昭氏、久保宗男氏 消防副団長に就任 緊急消防援助隊消火部隊登録変更 (本署水槽付消防ポンプ車から二見水槽付消防ポンプ自動車)
平成 25 年	3 月 5 日	人員輸送車配備(消防組織法第 50 条に基づく無償使用) 本部配備
	3 月 6 日	水槽付消防ポンプ自動車購入(社会資本整備総合交付金) 西分署配備
		水槽付消防ポンプ自動車購入(防衛省補助) 度会出張所配備
	4 月 1 日	緊急消防援助隊後方支援部隊登録(人員輸送車) 緊急消防援助隊消火部隊登録(本署水槽付消防ポンプ自動車)
	8 月 29 日	高規格救急自動車の寄贈を受ける(アステラス製薬) 西分署配備
	7 月 26 日~9 月 2 日	第 62 回神宮式年遷宮お白石持行事奉曳奉獻に係る警備・警ら
	10 月 17 日	危険物災害調査車(バネット)購入(社会資本整備総合交付金) 予防課配備

平成 26 年 2 月 28 日	高規格救急自動車購入（発電用施設周辺地域振興事業費補助金） 小俣分署配備
3 月 18 日	資材搬送車購入（社会資本整備総合交付金） 本署配備
3 月 25 日~28 日	行幸啓警備（天皇皇后両陛下第 62 回神宮式年遷宮後の御参拝）
4 月 15 日	市立伊勢総合病院救急ワークステーション運用開始（試行運用）
9 月 13 日	伊勢市消防団木遣り隊結成
12 月 24 日	伊勢赤十字病院救急ワークステーション運用開始（試行運用）
平成 27 年 3 月 1 日	橋村吉則氏 消防副団長に就任
4 月 1 日	竜田博史氏 17 代目消防長に就任 職員定数 200 名
平成 28 年 2 月 25 日	高規格救急自動車購入（緊急消防援助隊設備整備費補助金） 本署配備
2 月 29 日	消防本部庁舎新築移転（伊勢市防災センター合築）
3 月 25 日	高機能消防指令センター（Ⅱ型）稼動（防衛省補助）
4 月 1 日	坂口典生氏 18 代目消防長に就任 中西将文氏 消防団長に、五十子昌秀氏、池山秀明氏 消防副団長に就任
5 月 24 日~29 日	市立伊勢総合病院救急ワークステーション本格運用開始 伊勢赤十字病院救急ワークステーション本格運用開始 伊勢志摩サミット消防特別警戒（6 日間）
平成 29 年 4 月 21 日~5 月 14 日	お伊勢さん菓子博消防特別警戒（24 日間）
平成 30 年 3 月 15 日	化学消防ポンプ自動車購入（防衛省補助） 小俣分署配備
7 月 12 日~18 日	平成 30 年 7 月豪雨災害に伴う消防庁長官指示により、緊急消防援助隊派遣（広島県安芸郡へ 10 日間 延べ人員 50 名）
7 月 27 日~8 月 12 日	全国高等学校総合体育大会特別警戒（17 日間）
平成 31 年 2 月 21 日	高規格救急自動車購入 二見出張所配備
4 月 1 日	中芝育史氏 19 代目消防長に就任
4 月 17 日~18 日	行幸啓警備（天皇皇后両陛下ご退位報告）
令和 元年 5 月 16 日	石川周平氏 伊勢防火協会 4 代目会長に就任
11 月 21 日~23 日	行幸啓警備（天皇即位の礼に伴うもの）
令和 2 年 3 月 10 日	水槽付消防ポンプ自動車購入（防衛省補助） 本署配備
4 月 1 日	橋村吉則氏 消防団長に、佐藤圭二氏 消防副団長に就任
12 月 2 日	高規格救急自動車の寄贈を受ける（一般社団法人日本損害保険協会） 本署配備
令和 3 年 2 月 24 日	高規格救急自動車購入 度会出張所配備
12 月 15 日	高規格救急自動車購入 御菌分署配備
12 月 22 日	出張所庁舎（玉城）新築移転
令和 4 年 2 月 24 日	金森高幸氏 消防副団長に就任
令和 5 年 3 月 3 日	高規格救急自動車購入 玉城出張所配備
3 月 28 日	署隊本部車購入 本署配備
4 月 1 日	堀江武氏 20 代目消防長に就任 職員定数 216 名

主要災害の記録

昭和 24 年	4 月 7 日	市立中島小学校火災
昭和 25 年	3 月 1 日	朝熊山山林火災 3 町歩焼失
昭和 26 年	3 月 25 日	市立明倫小学校火災
昭和 27 年	5 月 18 日	常磐町 新興木材火災
昭和 30 年	12 月 17 日	錦水橋火災 延焼 22 棟
昭和 31 年	3 月 7 日 11 月 30 日	宮町国際マーケット火災 河崎町五十鈴製麦工場火災
昭和 34 年	9 月 26 日	伊勢湾台風襲来
昭和 38 年	6 月 29 日	松田工業火災
昭和 40 年	2 月 19 日	松田工業火災
昭和 41 年	5 月 16 日	市立倉田山中学校講堂火災
昭和 44 年	3 月 4 日	大湊町 強力造船所火災
昭和 45 年	1 月 30 日 4 月 1 日	新道商店街火災 全焼 7 棟、半焼 1 棟、部分焼 3 棟 上野町山林火災(陸上自衛隊航空学校のヘリコプター応援要請)
昭和 48 年	3 月 24 日	大湊町 西井造船所火災
昭和 49 年	1 月 13 日 7 月 7 日	吉川木材火災 全焼 30 棟、半焼 1 棟、部分焼 8 棟 七夕豪雨
昭和 52 年	11 月 16 日	高柳商店街アーケード火災 全焼 1 棟、半焼 5 棟
昭和 55 年	9 月 16 日	パール劇場火災
昭和 57 年	8 月 3 日	集中豪雨 浸水により沼木地区孤立
昭和 58 年	1 月 21 日	下野町 渡辺木材火災
昭和 63 年	10 月 29 日	浦口 1 丁目 丸天林業火災 全焼 8 棟、半焼 1 棟
平成 2 年	9 月 19 日	台風 19 号 浸水により沼木地区孤立

平成 6 年 9 月 29 日	台風 26 号 浸水により沼木地区孤立 総雨量 174.5 ミリ
平成 8 年 5 月 22 日	新道商店街火災 4 棟全焼・半焼 1 棟
平成 13 年 1 月 1 日 4 月 17 日	東大淀町 大忠食品工場火災 延べ 3,994 m ² 焼損 玉城町中角地内 林野火災 1.23ha 焼失
平成 14 年 4 月 4 日 9 月 27 日	度会町火打石地内 林野火災 12.38ha 焼失 (県災害対策本部設置、陸上自衛隊、県航空隊応援要請) 玉城町 ミマス紡績工場火災 延べ 10,253 m ² 焼損 (過去最高の損害額)
平成 16 年 9 月 29 日	宮川上流地区集中豪雨による水害 (台風 21 号) 伊勢市 (辻久留町、辻久留 2 丁目、辻久留 3 丁目、中島 2 丁目、大倉町、佐八町、津村町、上野町、円座町、神菌町) 住 宅 床上浸水 174 世帯 床下浸水 58 世帯 非住家 床下浸水 34 棟 避難者数 3,184 人 度会町 (中川地区、内城田地区、小川郷地区) 住 宅 床上浸水 6 世帯 床下浸水 11 世帯 非住家 床上浸水 10 棟 災害救助法の適用を受ける
平成 23 年 9 月 2 日 ~5 日	紀伊半島大水害 (台風 12 号) 伊勢市 (大倉町、辻久留 2 丁目、辻久留 3 丁目、神菌町、二俣 3 丁目、中島 2 丁目、佐八町、円座町) 住 宅 床上浸水 25 世帯 床下浸水 15 世帯 非住家 床上浸水 2 棟 床下浸水 15 棟 避難者数 952 人 509 世帯 玉城町 (田丸地区) 避難者数 100 人 45 世帯 度会町 (中川地区、内城田地区、小川郷地区) 住 宅 床上浸水 6 世帯 床下浸水 8 世帯 非住家 床上浸水 12 棟 床下浸水 1 棟 避難者数 17 人 7 世帯
平成 24 年 9 月 30 日	台風 17 号 伊勢市 (二見町茶屋・三津・荘・今一色・西、大湊町、村松町) 住 宅 床上浸水 1 世帯 床下浸水 2 世帯 非住家 床下浸水 12 世帯 避難者数 70 人 54 世帯 玉城町 (田丸地区) 避難者数 8 人 5 世帯

平成 29 年 10 月 22 日	台風 21 号 伊勢市 住宅 床上浸水 409 世帯 床下浸水 670 世帯 店舗、倉庫等の浸水 773 棟 避難者数 1,262 名 564 世帯 玉城町 住宅 床上浸水 278 世帯 床下浸水 250 世帯 避難者数 12 名 5 世帯 度会町 住宅 床上浸水 4 世帯 避難者数 9 名 8 世帯 災害救助法の適用を受ける
平成 30 年 1 月 26 日	高柳商店街火災 全焼 8 棟、部分焼 4 棟
令和 3 年 7 月 8 日	一之木 2 丁目 欣浄寺火災 全焼 1 棟、部分焼 3 棟
令和 4 年 10 月 11 日	曾祢 1 丁目 わくわくおんせんいづつ火災 全焼 6 棟、半焼 1 棟、部分焼 4 棟

消 防 庁 舎



【 消防本部・署 】

所在地

伊勢市楠部町 159 番地 11

建物構造

消防本部棟：鉄筋コンクリート造 4 階建

車 庫 棟：鉄骨造 4 階建

敷地面積 2,699.98 m²

建築面積 1,775.50 m²

延べ面積 3,958.31 m²

竣工 平成 27 年 11 月 16 日



【 西分署 】

所在地

伊勢市常磐 1 丁目 17 番地 12 号

建物構造

鉄骨造 2 階建

敷地面積 725.24 m²

建築面積 371.76 m²

延べ面積 542.01 m²

竣工 平成 5 年 3 月 26 日



【 御園分署 】

所在地

伊勢市御園町長屋 2218 番地

建物構造

鉄骨造 2 階建

敷地面積 1,427.00 m²

建築面積 466.14 m²

延べ面積 587.84 m²

竣工 平成 21 年 3 月 13 日



【 小俣分署 】

所在地

伊勢市小俣町元町 13 番地

建物構造

鉄筋コンクリート造 2 階建

敷地面積 976.15 m²

建築面積 326.58 m²

延べ面積 395.91 m²

竣工 昭和 57 年 12 月 23 日



【 二見出張所 】

所在地

伊勢市二見町茶屋 417 番地 1

建物構造

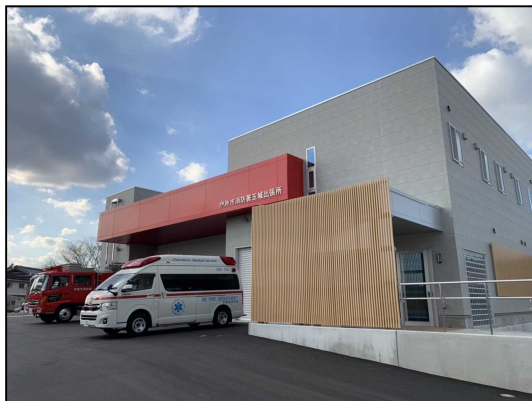
鉄骨造日本瓦葺 2 階建

敷地面積 793.87 m²

建築面積 190.84 m²

延べ面積 234.21 m²

竣工 平成 20 年 3 月 14 日



【 玉城出張所 】

所在地

度会郡玉城町佐田 1736 番地 1

建物構造

鉄骨造 2 階建

敷地面積 1,795.57 m²

建築面積 482.10 m²

延べ面積 739.95 m²

竣工 令和 3 年 12 月 22 日



【 度会出張所 】

所在地

度会郡度会町棚橋 1199 番地

建物構造

鉄骨造平屋建

敷地面積 950.94 m²

建築面積 279.50 m²

延べ面積 279.50 m²

竣工 平成 23 年 3 月 3 日

消防本部・消防署の配置



令和5年3月31日現在

市町別	面積(km ²)	人口(人)	世帯数(戸)
伊勢市	208.37	121,222	56,086
玉城町	40.91	15,108	5,863
度会町	134.98	7,776	3,124
計	384.26	144,106	65,073

※住民基本台帳基準

2

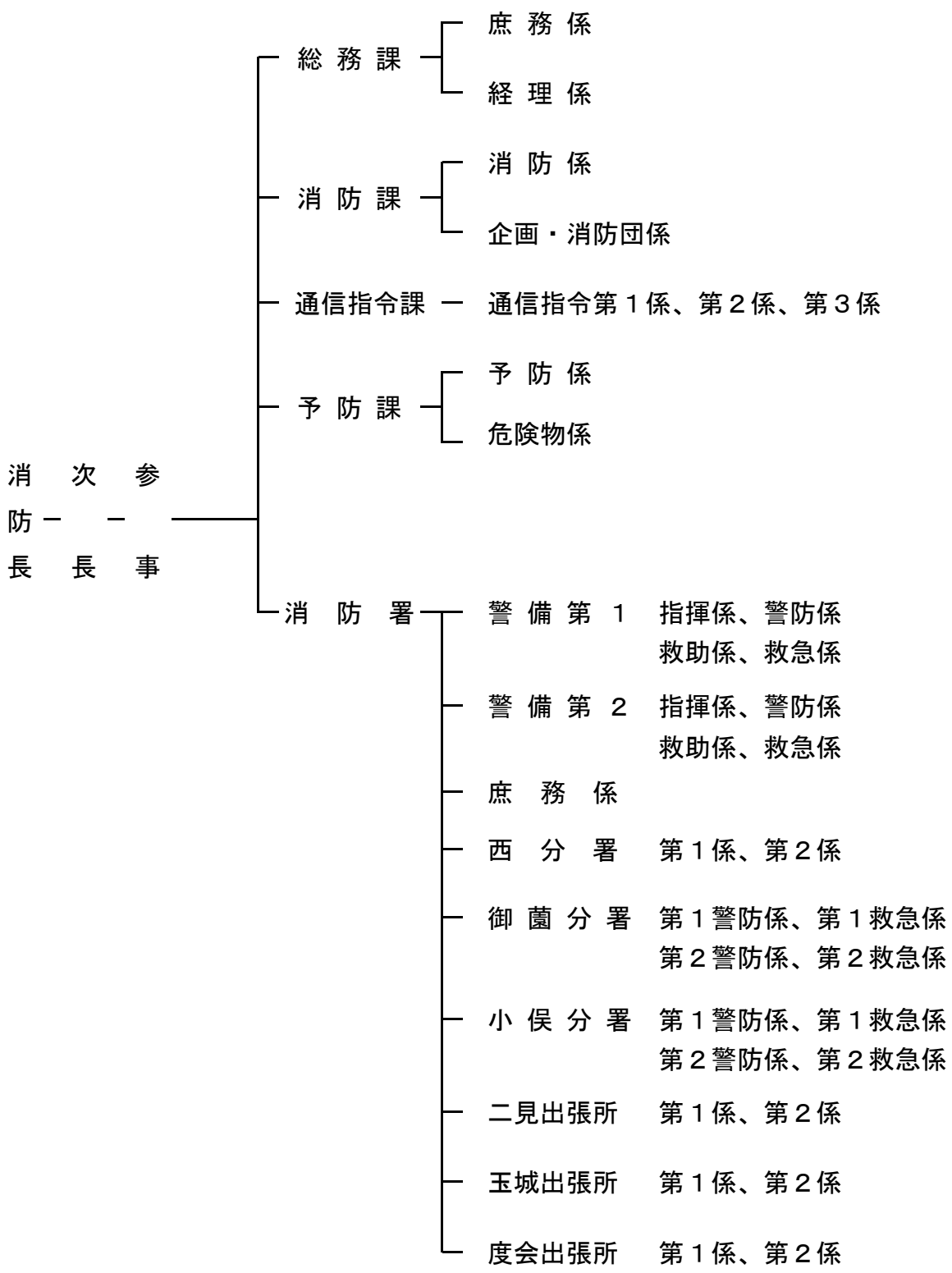
消 防 情 勢

当市消防本部は、4課（総務課、消防課、通信指令課、予防課）、消防署は1署、3分署、3出張所、消防職員215名（再任用職員14名含む）の体制で、管内約14万4千人の暮らしを守る担い手として、消防防災業務を行っています。



救助訓練の様子

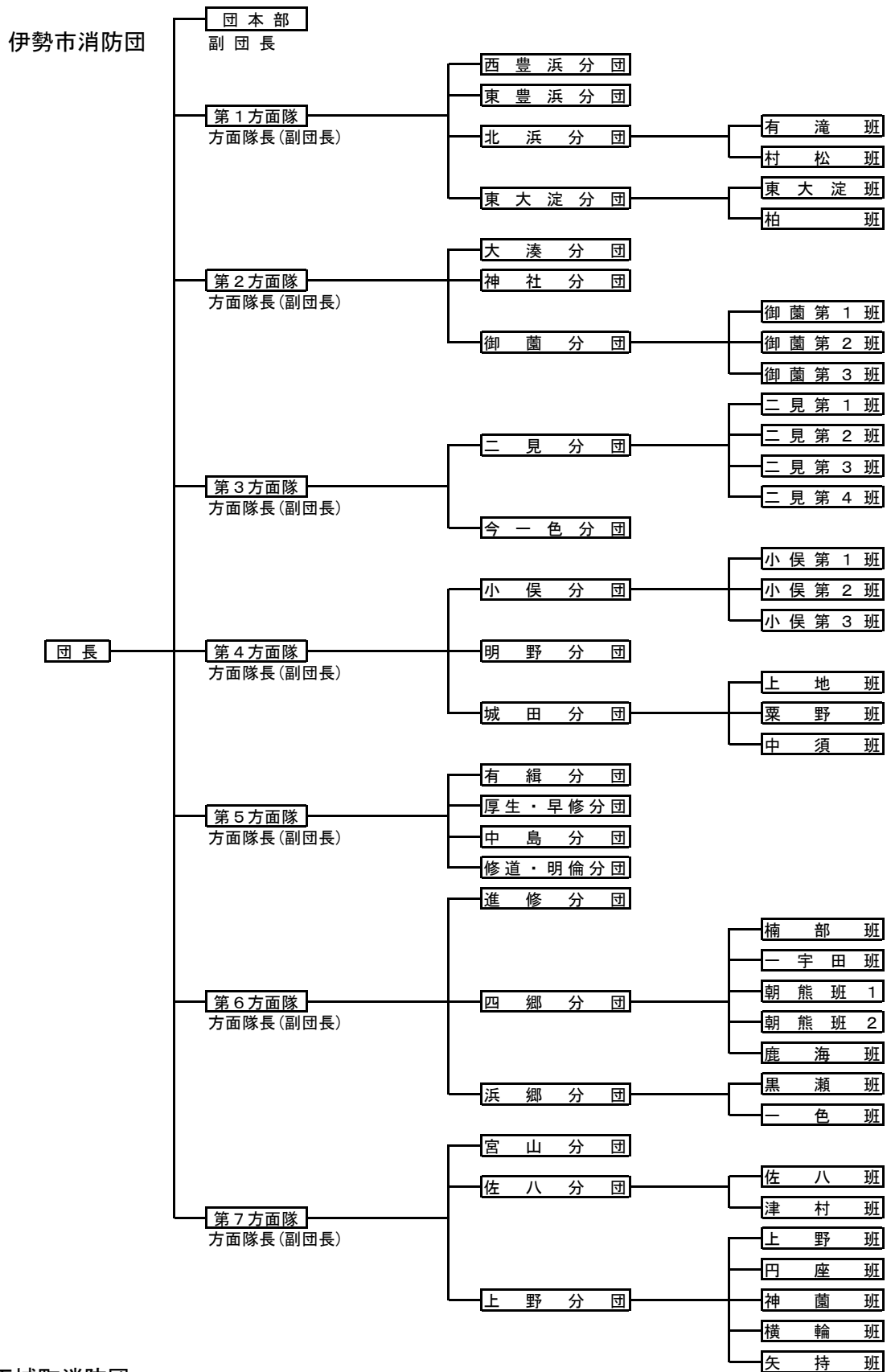
消防本部・消防署の組織



消防本部・消防署の事務分掌

総務課	庶務係	人事、例規の制定改廃、文書の管理 公務災害補償、福利厚生、消防広報 その他の事務
	経理係	予算の執行及び経理、職員の給与 土地建物の管理、備品等の出納保管 消防機械器具の整備保全
消防課	消防係	救急業務及び救助業務に関すること 研修及び訓練に関すること 各種警備計画に関すること
	企画・消防団係	水火災の警戒及び防御に関すること 消防水利の開発及び企画に関すること 消防団に関すること
通信指令課	通信指令係	火災救急その他災害の出動指令 消防通信機器の管理保全、気象観測 防災行政無線の運用
予防課	予防係	火災原因損害調査、火災統計、消防同意 り災証明の交付、消防設備等の設置指導 火災予防対策及び立入検査、防災規制 防火管理者及び自衛消防組織の育成
	危険物係	危険物製造所等の立入検査 危険物製造所等の許認可及び検査 危険物取扱者の育成指導
消防署	指揮係	現場指揮及びその他の指揮活動
	警防係	災害の警戒及び防御、地理水利の調査 防火対象物の調査及び警防計画 消防水利及び消防機械器具の管理保全
	救助係	災害の警戒及び防御、救助活動の教養訓練 特殊救助事故の業務実施計画 救助機械器具の管理保全
	救急係	災害の警戒及び防御、救急活動の教養訓練 特殊救急事故の業務実施計画 救急機械器具の管理保全
	庶務係	備品、消耗品の出納管理 火災予防条例の各種届出の処理
	分署・出張所	管轄内の警防・救助・救急係の事務分掌に準じる事務

消防団組織



玉城町消防団



度会町消防団



消防予算の概要

※令和5年度当初予算

単位：千円

節 目		計	1	2	3	4	5
			常備消防費	非 消 常 防 備 費	消防施設費	水 防 費	災害対策費
計		2,331,102	1,884,530	132,547	94,658	17,847	201,520
1	報酬	71,354	1,688	53,328		4,332	12,006
2	給料	744,993	741,103				3,890
3	職員手当等	555,590	546,671				8,919
4	共済費	253,887	250,901				2,986
5	災害補償費	1,810		1,810			
7	報償費	17,820	812	15,413			1,595
8	旅費	8,417	6,425	164			1,828
10	需用費	160,450	95,344	11,935	1,725	2,319	49,127
11	役務費	31,792	22,800	1,314	286	6	7,386
12	委託料	131,483	59,193	4,692	1,995	8,477	57,126
13	使用料及び 賃借料	17,203	12,973	1,752		528	1,950
14	工事請負費	64,750			52,300	1,950	10,500
15	原材料費	220	100	20	50	50	
16	公有財産購入費	8,996			8,996		
17	備品購入費	182,128	132,800	28,500			20,828
18	負担金、補助及 び交付金	77,626	12,178	12,578	29,306	185	23,379
21	補償、補填及び 賠償金	20	10	10			
26	公課費	2,563	1,532	1,031			

消防吏員配置状況

令和5年4月1日現在

階 級	計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
定 員	216									
実 員	200	1	2	13	20	30	78	3	53	
消 防 長	1	1								
次 長	1		1							
総務課	課長	1		1						
	課長補佐(庶務係長兼務)	1			1					
	庶務係	3				1	1	1		
	経理係	3			1		2			
消防課	課長	1		1						
	副参事(企画・消防団係長兼務)	1		1						
	消防係	3			1	1		1		
	企画・消防団係	3				1	2			
通信指令課	課長	1		1						
	通信指令第1係	4		1	1		2			
	通信指令第2係	4		1		1	1		1	
	通信指令第3係	4			2	1	1			
予防課	課長	1		1						
	副参事(予防・危険物係長兼務)	1		1						
	予防係	6				1	4		1	
	危険物係	2				1	1			
派遣・出向	13					1	1	11		
参事消防警戒・広域連携調整担当兼署長	1		1							
消防署	副署長(指揮係長兼務)	3		3						
	署長補佐(庶務係長兼務)	2			2					
	庶務係	1					1			
	警備第1	指揮係	2				1	1		
		警防係	7				1	3		3
		救急係	7			1	1	3		2
		救助係	7				2	2		3
	警備第2	指揮係	2				1	1		
		警防係	7				1	3		3
		救急係	7				2	3	1	1
		救助係	7			1	1	2		3
	西分署	第1係	7			1	1	4		1
		第2係	8			1	1	4		2
	御菌分署	第1警防係	5				1	3		1
		第1救急係	4			1		2		1
		第2警防係	5			1		3		1
		第2救急係	4				1	2		1
	小俣分署	第1警防係	5		1			3		1
		第1救急係	4				1	2		1
		第2警防係	5		1			3		1
		第2救急係	4				1	2		1
	二見出張所	第1係	7			1	1	3		2
		第2係	7			1	1	3		2
玉城出張所	第1係	7			1	1	2		3	
	第2係	7			1	1	3		2	
度会出張所	第1係	7			1	1	3		2	
	第2係	7			1	1	2		3	

消防吏員の階級別年齢構成

令和5年4月1日現在

階級 年齢	計	消防 正監	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士
合計	200	1	2	13	20	30	78	3	53
18歳	3								3
19歳	3								3
20歳	3								3
21歳	4								4
22歳	1								1
23歳	6								6
24歳	5								5
25歳	1						1		
26歳	4								4
27歳	7								7
28歳	6						2		4
29歳	4						2		2
30歳	11						7		4
31歳	12						7	2	3
32歳	8						8		
33歳	7						4		3
34歳	6					1	4		1
35歳	7					1	6		
36歳	7					3	4		
37歳	9					2	7		
38歳	10					6	4		
39歳	4						3	1	
40歳	8					3	5		
41歳	8					2	6		
42歳	2					1	1		
43歳	5				2	2	1		
44歳	5				1	2	2		
45歳	6				3	3			
46歳	5				1	2	2		
47歳	2				2				
48歳	5				4		1		
49歳	5			3	2				
50歳	0								
51歳	3			2		1			
52歳	4			2	2				
53歳	4			1	2	1			
54歳	0								
55歳	2			1	1				
56歳	3	1		2					
57歳	3		1	2					
58歳	0								
59歳	2		1				1		
60歳	0								
平均年齢	36.4	56.0	58.0	52.8	48.0	40.9	35.8	33.7	25.4

消防吏員の階級別勤続年数

令和5年4月1日現在

階級 年数	計	消防 正監	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士
合計	200	1	2	13	20	30	78	3	53
1年未満	10								10
1年以上	7								7
2年以上	4								4
3年以上	0								
4年以上	10						1		9
5年以上	9								9
6年以上	10						3		7
7年以上	6						2		4
8年以上	12						9		3
9年以上	10						10		
10年以上	9						7	2	
11年以上	9						9		
12年以上	9					1	8		
13年以上	9					1	7	1	
14年以上	8					3	5		
15年以上	15					7	8		
16年以上	5					5			
17年以上	0								
18年以上	4					3	1		
19年以上	1					1			
20年以上	5					1	4		
21年以上	2				1	1			
22年以上	6				3	3			
23年以上	3				2		1		
24年以上	3				2	1			
25年以上	3				3				
26年以上	3				1	1	1		
27年以上	2			1			1		
28年以上	2			1		1			
29年以上	2			1	1				
30年以上	3				2	1			
31年以上	3			2	1				
32年以上	3				3				
33年以上	0								
34年以上	5			4	1				
35年以上	0								
36年以上	0								
37年以上	1		1						
38年以上	3	1		2					
39年以上	2			2					
40年以上	0								
41年以上	2		1				1		
平均勤続年数	14.0	38.0	39.0	33.5	26.6	18.0	12.3	11.0	3.6

学校等研修状況

区 分		年 度				
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
消 防 大 学 校	警 防 科					
	予 防 科					
	救 急 科					
	救 助 科					1
	火 災 調 査 科	1				
	危 険 物 科		1			1
	女 性 活 躍 推 進 コ ー ス				1	
救 急 救 命 士 養 成 所	2	2		2	2	
三 重 県 消 防 学 校	初 任 科	11	10		2	7
	初 級 幹 部 科	2	2	2		2
	中 級 幹 部 科	2	2	2	2	
	上 級 幹 部 科		2		2	
	警 防 科 警 防 課 程	2	2	2	2	2
	特 殊 災 害 科 特 殊 災 害 課 程		2	2	2	
	救 急 科 救 急 課 程	11	10		2	7
	救 助 科 救 助 課 程	2	2	2	4	4
	救 助 科 水 難 救 助 課 程	4	4	4	2	3
	予 防 査 察 科 予 防 査 察 課 程	2		2		2
	火 災 調 査 科 火 災 調 査 課 程		2		2	
	危 険 物 科 危 険 物 課 程	2		2		2
	特 別 科 は し ご 自 動 車 講 習	2		2		2
	特 別 科 指 揮 課 程	2	2	2	2	2
	特 別 科 救 急 救 命 士 フ ラ ッ シ ュ ア ッ プ 講 習		4			2
	特 別 科 気 管 挿 管 追 加 講 習	1	1	1	1	
	特 別 科 救 急 救 命 士 処 置 拡 大 講 習	5				
校 特 別 科 指 導 救 命 士 課 程		2		2		

(数値：派遣人数)

派遣研修状況

令和4年度中

講習内容	派遣者数
大型自動車運転免許技能講習	8
クレーン運転業務にかかる特別教育	4
三重県救急救命指導者セミナー（三重 MCLS 標準・インストラクターコース）	7
2級小型船舶操縦士免許取得に係る講習	2
スワフトウォーターレスキューテクニシャンレベル I 講習	1
三重県救急救命指導者セミナー（PEMEG コース）	2
三重県救急救命指導者セミナー（PCEG コース）	2
JPTEC 伊勢志摩プロバイダーコース（養成・更新）	13
初級心電図セミナー	4
テクニカルロープレスキューテクニシャン講習	2
伊勢 ICLS プロバイダーコース	2
ファイヤーファイターサバイバル I 講習	2
予防技術検定	10
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	4
救急救命士業務実地修練	1
三重県救急救命標準化教育統合コース	2
CSRМ ベーシックコース	2
PSLS 伊勢志摩コース	2
主任無線従事者講習	3

応急手当普及啓発関係

令和4年度中

種別 区分	普通 救命 講習 I	普通 救命 講習 II	普通 救命 講習 III	上級救 命講習	応急手 当普及 員講習	救命 入門 コース	その他の 応急手当 指導	計
回数	回 58	回 8	回 10	回 4	回 18	回 60	回 15	回 173
人数	人 700	人 96	人 142	人 92	人 103	人 980	人 324	人 2,437

職員技術資格取得状況

令和5年4月1日現在

		合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
自動車免許	大型	118	1	1	11	17	26	52	1	9
	中型(11t未満)	32	0	0	0	2	4	21	2	3
	中型(8t未満)	7	0	1	2	1	0	3	0	0
	準中型(7.5t未満)	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	準中型(5t未満)	23	0	0	0	0	0	2	0	21
	普通	20	0	0	0	0	0	0	0	20
	大型特殊	5	0	0	1	0	2	2	0	0
	牽引	7	0	0	1	2	2	2	0	0
陸上特殊無線技士	第二級	147	1	2	13	19	29	74	3	6
	第三級	44	0	0	0	1	1	4	0	38
小型船舶操縦士	1級	1	0	0	0	0	0	1	0	0
	2級	44	0	1	7	7	13	14	1	1
	特殊	8	0	0	0	2	3	3	0	1
救急救命士		70	0	1	2	10	11	32	2	12
潜水士		60	0	0	5	8	13	25	1	8
回転翼無人航空機操縦技能認定者		12	0	0	2	0	6	4	0	0
ガス溶接技能講習修了者		88	1	1	13	17	28	22	0	6
移動式クレーン運転技能講習修了者		179	0	1	12	18	28	75	3	42
玉掛技能講習修了者		185	0	1	12	20	30	77	3	42
クレーン運転業務特別教育修了者		23	0	0	10	7	3	3	0	0
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者		47	0	0	11	10	14	12	0	0
第一種衛生管理者		5	0	0	1	3	1	0	0	0
特別管理産業廃棄物管理責任者		25	1	1	2	8	6	7	0	0
予防技術資格者	設備	12	0	0	1	0	6	4	0	1
	査察	41	0	0	3	6	11	16	0	5
	危険物	13	0	0	1	3	5	4	0	0
危険物取扱免状	甲種	2	0	0	0	0	1	0	0	1
	乙種	160	0	0	2	11	28	73	3	43
消防設備士	甲種	5	0	0	0	0	3	1	0	1
	乙種	6	0	0	0	0	2	4	0	1

消防機械の状況

種 別	台 数	種 別	台 数	種 別	台 数
水槽付消防ポンプ自動車	8	は し ご 自 動 車	1	人 員 輸 送 車	1
消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	高 規 格 救 急 自 動 車	9	広 報 車 等	11
化学消防ポンプ自動車	1	指 揮 車	1	ミ ニ 可 搬	4
救 助 工 作 車	1	資 材 搬 送 車	2	救 命 艇	2

所 属	種 別	登 録 番 号	車 名	年 式	ポ ン プ 等	備 考	
					規 格		
消 防 本 部	総 務 課	乗 用 車	三重300ほ5158	トヨタ	H16. 5		プリウス
		総 務 広 報 車	三重800す6643	日産	H22. 3		ラフェスタ 緊急地震対策補助
		総 務 連 絡 車	三重42い9068	スズキ	H14. 10		アルト 三重県遊技業協同組合伊勢支部
		人 員 輸 送 車	三重800す8684	トヨタ	H25. 2		消防組織法第50条に基づく「国 有財産の無償使用」
		防 災 啓 発 車	三重301み3783	日産	H28. 9		ラフェスタ H28. 12危機管理課より保管替
	消 防 課	後 方 支 援 車	三重800す7298	トヨタ	H23. 2		ハイエース 社会資本整備総合交付金
		救急普及啓発広報車	三重800せ2164	日産	H29. 11		一般財団法人救急振興財団寄贈
	予 防 課	危 険 物 災 害 調 査 車	三重800す9194	日産	H25. 10		バネット 社会資本整備総合交付金
		予 防 広 報 車	三重800す7772	ホンダ	H23. 10		フィットシャトル
		火 災 原 因 調 査 車	三重800す7304	トヨタ	H23. 2		ハイエース 社会資本整備総合交付金
		予 防 連 絡 車	三重580う7712	三菱	H17. 7		ミニカ 伊勢防火協会寄贈
	消 防 署	警 備 第 1 2	は し ご 自 動 車	三重830さ845	日野	H21. 12	伸縮水路管付 35m
水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車			三重800す324	日野	H16. 11	A - 2	水1,500ℓ I -A型 防衛施設庁補助
水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車			三重800は2398	日野	R 2. 3	A - 2	水1,500ℓ I -B型 防衛省補助
高規格救急自動車			三重800せ906	トヨタ	H28. 2		緊急消防援助隊設備整備費補助
高規格救急自動車			伊勢志摩810さ205	トヨタ	R 2. 11		消防庁経由寄贈車(日本損害保 険協会)
高規格救急自動車			三重800す7288	トヨタ	H23. 2		防衛省補助
救 助 工 作 車			三重830た95	日野	H23. 3		II 型 地域活力基盤創造交付金
指 揮 車			三重800す7299	トヨタ	H23. 2		ハイエース 社会資本整備総合交付金

令和5年4月1日現在

所 属	種 別	登 録 番 号	車 名	年 式	ポンプ等	備 考		
					規 格			
消 防 署	警 備 第 1 警 備 第 2	署 隊 本 部 車	伊勢志摩883あ351	ダイハツ	R5. 3		ハイゼット	
		資 材 搬 送 車	三重800す9538	三菱	H26. 3		社会資本整備総合交付金	
		資 材 搬 送 車	三重480い3719	スバル	H17. 9		サンバー (4WD)	
		ミ ニ 可 搬					C - 1	
		救 命 艇	243-40575	アキレス	H28. 2			ゴムボート
		救 命 艇	243-415793	アキレス	R 2. 8			ゴムボート
	西 分 署	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	三重800は1744	日野	H25. 2	A - 2	水1,500ℓ I -B型 社会資本整備総合交付金	
		高規格救急自動車	三重800す9101	トヨタ	H25. 8		消防庁経由寄贈車(アステラス製薬)	
	御 菌 分 署	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	三重800は1465	日野	H21. 2	A - 2	水1,500ℓ I -B型	
		高規格救急自動車	伊勢志摩810さ204	トヨタ	R 3. 12		防衛省補助	
		消防ポンプ自動車	三重88ほ3741	いすゞ	H 4. 2	A - 2	県単独補助事業	
	小 俣 分 署	化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車	三重800は2201	日野	H30. 3	A - 2	水1,300ℓ薬液500ℓ II型 防衛省補助	
		高規格救急自動車	三重800す9471	トヨタ	H26. 2		発電用施設周辺地域振興事業 費補助	
	二 見 出 張 所	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	三重800は1683	日野	H24. 2	A - 2	水1,500ℓ I -B型 緊急消防援助隊設備整備費補助	
		高規格救急自動車	三重800せ3075	トヨタ	H31. 2			
		ミ ニ 可 搬					C - 1	
	玉 城 出 張 所	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	三重800は1682	日野	H24. 2	A - 2	水1,500ℓ I -B型 防衛省補助	
		水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	三重800さ6190	いすゞ	H14. 3	A - 2	水1,500ℓ I -A型 防衛施設庁補助	
		高規格救急自動車	伊勢志摩810さ207	トヨタ	R5. 3			
		ミ ニ 可 搬					C - 1	
	度 会 出 張 所	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	三重800は1745	日野	H25. 2	A - 2	水1,500ℓ I -B型 防衛省補助	
高規格救急自動車		伊勢志摩810さ206	トヨタ	R 3. 2				
ミ ニ 可 搬						C - 1		

消防水利状況

令和5年4月1日現在

区分 地区別	水利施設数	消 火 栓 (上水道)								
		計	400 mm 以上	350 mm 以上	300 mm 以上	250 mm 以上	200 mm 以上	150 mm 以上	100 mm 以上	75 mm 以上
合計	4,885	3,915	40	62	94	80	316	691	1,203	1,429
進修	76	62	1	3	2		10	5	23	18
修道	101	82		3		8	21	6	28	16
明倫	203	163	8	3	5	7	14	31	73	22
有緝	216	174	6	6	2	10	13	30	78	29
厚生	202	152	1	5	5	5	5	37	74	20
早修	111	85	5	5	1	1	1	12	53	7
中島	133	110	2	11	1	2	3	27	43	21
神社	142	117				6	18	8	38	47
大湊	72	59				4	9	3	26	17
浜郷	121	105		1	7		24	8	36	29
宮本	168	129	3	7	4	4	25	24	39	23
豊浜	194	131	2		4			25	40	60
北浜	219	184			5		24	25	78	52
城田	183	144			11	1	1	21	75	35
四郷	214	174	2	13	5	10	12	26	61	45
沼木	93	69					8	20	18	23
二見	349	316	1	1	9	3	40	77	53	132
小俣	597	451			14	7	34	92	84	220
御藪	278	183	4	4	9	8	8	25	68	57
小計	3,672	2,890	35	62	84	76	270	502	988	873
玉城	727	624	5		10	4	31	100	137	337
度会	486	401					15	89	78	219
小計	1,213	1,025	5		10	4	46	189	215	556

()は耐震性防火水槽

計	防 火 水 槽					防 火 井 戸	防 火 栓
	100㎡ 以上	60㎡ 以上	40㎡ 以上	20㎡ 以上	20㎡ 未満		
694 (259)	17 (13)	8 (2)	545 (244)	103	21	269	7
10 (2)			8 (2)	2		4	
19 (4)	1	1	8 (4)	6	3		
29 (11)	1 (1)		24 (10)	4		11	
21 (12)	3 (3)		15 (9)	3		21	
20 (11)	3 (3)		15 (8)	2		30	
10 (4)	1 (1)		8 (3)	1		16	
15 (5)	1 (1)	1	11 (4)	2		8	
14 (6)			11 (6)	3		11	
13 (4)			12 (4)	1			
11 (6)			8 (6)	3		5	
39 (20)			33 (20)	6			
15 (11)			14 (11)	1		46	2
15 (11)			12 (11)	3		16	4
31 (11)		1	20 (11)	4	6	8	
36 (13)	2 (2)		22 (11)	12		3	1
24 (5)			14 (5)	7	3		
29 (22)	1	1	27 (22)			4	
134 (48)	2 (2)	1 (1)	125 (45)	6		12	
21 (8)			21 (8)			74	
506 (214)	15 (13)	5 (1)	408 (200)	66	12	269	7
103 (37)	2	3 (1)	55 (36)	34	9		
85 (8)			82 (8)	3			
188 (45)	2	3 (1)	137 (44)	37	9		

消防無線

1. デジタル無線

令和5年4月1日現在

デジタル無線基地局		いせしょうぼう 出力10W いせしょうぼうおばた 出力5W
車載型移動局 (81局)		
消防本部	8	いせ 11、いせ 12、いせ 31、いせ 61、いせ 62、いせ 63、いせ 69、いせ 71
消防署(本署)	10	いせ 1、いせ 10、いせ 32、いせ 41、いせ 51、いせ 64、いせ 68 きゅうきゅういせ 2、きゅうきゅういせ 5、きゅうきゅういせ 9
西分署	2	いせ 3、きゅうきゅういせ 8
小俣分署	3	いせ 5、いせ 8、きゅうきゅういせ 1
御菌分署	3	いせ 2、いせ 9、きゅうきゅういせ 4
二見出張所	2	いせ 4、きゅうきゅういせ 3
玉城出張所	2	いせ 6、きゅうきゅういせ 7
度会出張所	2	いせ 7、きゅうきゅういせ 6
消防団本部	2	いせ 65、いせ 66
消防団	47	いせにしとよはま1、いせひがしとよはま1、いせありたき1 いせむらまつ1、いせひがしおいず1、いせかしわ1、いせおおみなと1 いせかみやしろ1、いせながや1、いせかみじょう1、いせたかぶく1 いせまつした1、いせえ1、いせちゃや1、いせみつ1、いせやまだはら1 いせみぞぐち1、いせしょう1、いせにし1、いせいまいっしき1、いせおばた1、いせおばた2、いせおばた3、いせあけの1、いせうえじ1 いせあわの1、いせなかつ1、いせゆうしゅう1、いせこうせい1 いせなかじま1、いせしゅうどう1、いせしんしゅう1、いせくすべ1 いせいちうだ1、いせあさま1、いせあさま2、いせかのみ1、いせくろせ1 いせいっしき1、いせみややま1、いせそうち1、いせつむら1、いせうえの1 いせえんざ1、いせかみその1、いせよこわ1、いせやもち1
可搬型移動局 (9局)		
消防本部:いせ 300、いせ 302、本署:いせ 301、西分署:いせ 303、御菌分署:いせ 304、二見出張所:いせ 305、小俣分署:いせ 306、玉城出張所:いせ 307、度会出張所:いせ 308		
携帯型移動局 (119局)		
消防本部	17	いせ 147、いせ 148、いせ 149、いせ 150、いせ 151、いせ 152、いせ 153 いせ 154、いせ 155、いせ 156、いせ 157、いせ 158、いせ 159、いせ 160 いせ 161、いせ 162、いせ 163
消防署(本署)	20	いせ 101、いせ 102、いせ 103、いせ 104、いせ 105、いせ 106、いせ 107 いせ 108、いせ 109、いせ 110、いせ 111、いせ 112、いせ 113、いせ 114 いせ 115、いせ 116、いせ 117、いせ 118、いせ 119、いせ 120
西分署	4	いせ 121、いせ 122、いせ 123、いせ 124
小俣分署	5	いせ 134、いせ 135、いせ 136、いせ 137、いせ 138

携帯型移動局（119局）		
御 菌 分 署	5	いせ 125、いせ 126、いせ 127、いせ 128、いせ 129
二見出張所	4	いせ 130、いせ 131、いせ 132、いせ 133
玉城出張所	4	いせ 139、いせ 140、いせ 141、いせ 142
度会出張所	4	いせ 143、いせ 144、いせ 145、いせ 146
消防団本部	9	いせ 201、いせ 202、いせ 203、いせ 204、いせ 205、いせ 206、いせ 207 いせ 208、いせ 209
消 防 団	47	いせ 210、いせ 211、いせ 212、いせ 213、いせ 214、いせ 215、いせ 216 いせ 217、いせ 218、いせ 219、いせ 220、いせ 221、いせ 222、いせ 223 いせ 224、いせ 225、いせ 226、いせ 227、いせ 228、いせ 229、いせ 230 いせ 231、いせ 232、いせ 233、いせ 234、いせ 235、いせ 236、いせ 237 いせ 238、いせ 239、いせ 240、いせ 241、いせ 242、いせ 243、いせ 244 いせ 245、いせ 246、いせ 247、いせ 248、いせ 249、いせ 250、いせ 251 いせ 252、いせ 253、いせ 254、いせ 255、いせ 256

消防力の整備指針

(令和4年度市町村消防施設整備計画実態調査表に基づくデータ)

車両及び消防職員数

	算定数	整備数	算定数	現員数
指 揮 車	1台	1台	168人	146人
消 防 ポ ン プ 自 動 車	8台	8台		
は し ご 自 動 車	1台	1台		
化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車	1台	1台		
救 急 自 動 車	8台	8台		
救 助 工 作 車	1台	1台		
非 常 用 消 防 ポ ン プ 自 動 車	1台	1台		
非 常 用 救 急 自 動 車	1台	1台		
通 信 員			12人	12人
予 防 要 員 (専 任)			27人	11人
総 務 事 務 等 の 執 行 の た め に 必 要 な 人 員			37人	37人
合 計			244人	206人

消防水利

算定数	整備数	不足数	比率
ア	イ	ア-イ	イ/ア×100
2,216箇所	1,378箇所	838箇所	62.2%

消防職員委員会

委員の構成

令和4年度中

階級 指名別	消防 監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防 士	その他 の職員	計
委員長	1								1
消防長指名			1	2	2		1		6
職員推薦			2	2	2				6
計	1		3	4	4		1		13

意見とりまとめ者の構成

令和4年度中

消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
			5		1	6

委員会開催回数（過去5年）

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
開催回数	1	3	3	1	1

意見審議件数（過去5年）

区 分	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
勤務条件及び福利厚生	4	15	18	3	3
職務遂行上必要な被服 及び 装 備 品	2	6	5	1	1
消防の用に供する設備 機械器具その他の施設	1	3	4	2	4
計	7	24	27	6	8

委員会審議結果（過去5年）

区 分	平成 30年度	平成 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
実施することが適当である	3	8	9	5	2
諸課題を検討する必要がある	1	15	7	2	5
実施することは困難である					
現行どおりでよい・その他	3	1	11		1
計	7	24	27	7	8

実現件数（過去5年）

令和5年4月1日現在

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実現件数	3	4	4	1	1

3

予 防

市民の火災予防に対する認識を深めるため、公民館や事業所において、消火、通報及び避難について訓練指導を実施しています。

また、火災予防運動週間中においては、大型小売店舗前などで防火キャンペーンを行い、幅広く住民に対して火災予防を呼びかけています。

全国一律に住宅用火災警報器の設置が義務づけられており、住宅火災予防のため、防火講話、自衛消防訓練、広報誌等を通じて、一般家庭への普及啓発に努めています。



予防週間に伴う防火キャンペーンの様子

防火対象物の推移と立入検査状況

区 分 用 途 別		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
		施設 総数	立入 件数	施設 総数	立入 件数	施設 総数	立入 件数	施設 総数	立入 件数	施設 総数	立入 件数
計		4,044	566	4,136	712	4,259	362	4,329	200	4,231	395
1	イ	21	12	20	16	20		20	11	20	3
	ロ	134	19	141	11	146	18	147	12	164	25
2	イ				1	1		1			
	ロ	20	6	19	14	17	2	16		14	2
	ハ ニ	2		3	1	3		3		3	1
3	イ	1		1	1	1		1		1	
	ロ	140	7	147	24	157	25	159	14	165	21
4		271	18	283	61	280	25	285	23	280	47
5	イ	95	30	106	24	109	7	108	42	107	22
	ロ	737	62	749	74	755	37	756	17	727	60
6	イ	115	10	106	17	114	2	114	2	111	16
	ロ	54	32	53	10	54	2	59	4	62	4
	ハ	123	61	126	30	140	4	141	5	161	14
	ニ	17	6	19	2	18	1	18		17	
7		201	21	202	15	203	12	203	17	206	16
8		16	5	16	7	17	4	17		16	2
9	イ	1		1		1		1		1	
	ロ	6		6		6		6		3	
10		10		10	2	10		10		10	
11		66	23	70	19	68	12	68	1	68	22
12	イ	648	79	652	129	640	74	645	11	621	35
	ロ										
13	イ	28	3	33	5	31	1	31		32	
	ロ	6		6		6		6		6	
14		407	46	426	70	450	41	455	14	429	19
15		482	49	503	84	528	49	547	13	530	26
16	イ	351	66	346	63	374	30	393	12	368	42
	ロ	86	7	86	25	104	13	113	2	103	14
17		4	4	4	7	4	3	4		4	4
18		2		2		2		2		2	

消防用設備等設置状況

令和5年4月1日現在

区分 用途別		計	屋内 消火 栓設 備	ス プリ ンク ラー 設 備	水 噴 霧 消 火 設 備 等	屋 外 消 火 栓 設 備	動 力 消 防 ポ ンプ 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 設 備	漏 電 火 災 警 報 設 備	火 災 通 報 設 備	非 常 警 報 設 備	避 難 器 具	誘 導 灯	消 防 用 水	排 煙 設 備	連 結 送 水 管	非 常 コ ン セ ン ト
1	イ 劇場・映画館・観覧場等	61	7	3	2	3		15			1	13	2	13	1	1		
	ロ 公会堂・集会場	338	3					56					115	16	148			
2	イ キャバレー・カフェ等																	
	ロ 遊技場・ダンスホール	52	4		1	2		15			1	10	2	17				
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗等																	
3	イ 待合・料理店の類	2						1						1				
	ロ 飲食店	277	4		1			53				49	29	141				
4	百貨店・マーケット等	481	16	13	9	1		142		1	1	48	4	236	1	9		
5	イ 旅館・ホテル・宿泊所	349	33	3	7	9		93		10	50	25	21	89			7	2
	ロ 寄宿舎・下宿・共同住宅	423	11	1	3			140		6	3	70	150	9			26	4
6	イ 病院・診療所・助産所	221	5	6	3			58			20	13	9	104	1		2	
	ロ 老人短期入所施設等	244	2	49	3			62			58	1	7	62				
	ハ 老人及び児童養護施設等	320	6	1				104			43	16	11	139				
	ニ 幼稚園・特別支援学校	35	6					13				1	1	14				
7	小・中・高・大学校	332	96		1	1		155			1	31	33	13			1	
8	図書館・博物館・美術館	29	5		1			11				4		8				
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場等	4	1					1				1		1				
	ロ 公衆浴場	4						1	1		1		1					
10	車両の停車場等																	
11	神社・寺院・教会の類	43	4					10			1	20	3	4		1		
12	イ 工場・作業場	586	129		18	41		317				1	3	64	13			
	ロ 映画・テレビスタジオ	1						1										
13	イ 自動車車庫・駐車場	27			13			14										
	ロ 飛行機・回転翼航空機の格納庫	14			6			6					1	1				
14	倉庫	205	28			3	2	149				1		22				
15	前各項に該当しない事業所	338	16		8	2		117			6	64	18	106			1	
16	イ 複合用途防火対象物	738	20	36	9	1		205		2	44	59	47	313			2	
	ロ 上記以外の防火対象物	78	5		3	2	2	32				5	12	15	1		1	
17	重要文化財・史跡等の建造物	4						4										
18	延長50m以上のアーケード	2																2

防火対象物立入検査状況

令和4年度中

区分 用途別	立 入 件 数	延 べ 人 員	改 善 件 数	指 導 区 分					
				火 災 予 防	消 火 設 備	警 報 設 備	避 難 施 設	維 持 管 理	
計	395	1,573	12	110	130	105	54	315	
1	イ	3	12		1		1		
	ロ	25	108		1	8	6	8	42
2	イ								
	ロ	2	8				2		
	ハ ニ	1	2					1	
3	イ								
	ロ	21	76		6	7	8	7	33
4		47	184		16	21	12	5	56
5	イ	22	90	5	21	14	8	7	24
	ロ	60	261		5	14	8	1	35
6	イ	16	73		4	3	1	2	7
	ロ	4	12		2	1	1	1	4
	ハ ニ	14	57		6	1	1		3
7		16	56		2	3	4	1	5
8		2	6						
9	イ								
	ロ								
10									
11		22	84	3	8	3	1		10
12	イ	35	136	4	15	26	17	4	21
	ロ								
13	イ								
	ロ								
14		19	81		6	11	16	2	12
15		26	113		1	7	3	3	13
16	イ	42	154		14	7	11	11	41
	ロ	14	50		2	4	5	2	8
17		4	10						
18									

中高層建物一覧表

令和5年4月1日現在

用途別		階別	計	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階
				階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階
計			337	190	76	30	17	6	5	6	2	3	1	1
1	イ	劇場・映画館・観覧場等	3	2	1									
	ロ	公会堂・集会場												
2	イ	キャバレー・カフェ等												
	ロ	遊技場・ダンスホール	2	2										
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等												
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等												
3	イ	待合・料理店の類												
	ロ	飲食店	7	4	3									
4		百貨店・マーケット等	9	9										
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	23	6	2	5	2	1	2	2		2	1	
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	130	61	37	8	10	5	2	4	2			1
6	イ	病院・診療所・助産所	12	8	2		2							
	ロ	老人短期入所施設等	1	1										
	ハ	老人及び児童養護施設等	1			1								
	ニ	幼稚園・特別支援学校												
7		小・中・高・大学校	17	13	3	1								
8		図書館・博物館・美術館	1	1										
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等												
	ロ	公衆浴場												
10		車両の停車場等												
11		神社・寺院・教会の類												
12	イ	工場・作業場	17	17										
	ロ	映画・テレビスタジオ												
13	イ	自動車車庫・駐車場												
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	1	1										
14		倉庫	1	1										
15		前各項に該当しない事業所	41	23	13	5								
16	イ	複合用途防火対象物	58	33	11	9	3		1			1		
	ロ	上記以外の防火対象物	13	8	4	1								
17		重要文化財・史跡等の建造物												
18		延長50m以上のアーケード												

訓練指導状況

令和4年度中

区 分	月 別												
	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消 防 訓 練 指 導 件 数	53	1	2	4	4	1	6	7	14	7	2	3	2
消火器取扱指導 (内数)	44	1	2	4	4	1	5	7	7	7	2	3	1
防 火 講 話 (内数)	27	1		1			1	7	6	5	2	3	1

幼年消防クラブ現況

令和5年4月1日現在

ク ラ ブ 名	クラブ員数	ク ラ ブ 名	クラブ員数
みどり保育園幼年消防クラブ	11	豊浜西保育所幼年消防クラブ	47
船江保育園 "	34	中須保育園 "	44
大湊保育園 "	18	マリアこども園 "	37
東大淀保育園 "	21	有滝保育園 "	14
佐八保育園 "	22	和順こども園 "	70
村松保育園 "	17	ゆたかこども園 "	131
一色保育園 "	29	たけのこ保育園 "	51
合 計	546 人		

消防同意月別処理状況

令和4年度中

区分 月別	計	新 築	増 築	改 築	そ の 他
計	153	139	8		6
4 月	18	18			
5 月	11	11			
6 月	8	7	1		
7 月	10	8	1		1
8 月	17	15	2		
9 月	18	15			3
10 月	9	9			
11 月	14	13	1		
12 月	7	7			
1 月	13	11			2
2 月	13	12	1		
3 月	15	13	2		

消防同意市町別処理状況

令和4年度中

区分 市町村別	計	新 築	増 築	改 築	そ の 他
計	153	139	8		6
伊 勢 市	136	125	7		4
玉 城 町	11	10			1
度 会 町	6	4	1		1

消防同意用途別処理状況

令和4年度中

用途別	月別	計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
			月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
計		153	18	11	8	10	17	18	9	14	7	13	13	15
1	イ 劇場・映画館・観覧場等													
	ロ 公会堂・集会場	1					1							
2	イ キャバレー・カフェ等													
	ロ 遊技場・ダンスホール													
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗等													
	ニ カラオケボックス、個室ビデオ等													
3	イ 待合・料理店の類													
	ロ 飲食店	5	1	1				1		1			1	
4	百貨店・マーケット等	11	1	1	1	1	1	1	1	1			1	2
5	イ 旅館・ホテル・宿泊所	2										2		
	ロ 寄宿舍・下宿・共同住宅	6	1		1			1		1		1		1
6	イ 病院・診療所・助産所	10	2				3					2		3
	ロ 老人短期入所施設	2		2										
	ハ 老人及び児童養護施設等	6		2	1	1			1	1				
	ニ 幼稚園・特別支援学校													
7	小・中・高・大学校	1				1								
8	図書館・博物館・美術館													
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場等													
	ロ 公衆浴場													
10	車両の停車場等													
11	神社・寺院・教会の類	2		1			1							
12	イ 工場・作業場	19	4		2	1	1	4	1			3	3	
	ロ 映画・テレビスタジオ													
13	イ 自動車車庫・駐車場													
	ロ 飛行機・回転翼航空機の格納庫													
14	倉庫	13	2				1			2		3	2	3
15	前各項に該当しない事業所	17	2	1		1	2	5		2			2	2
16	イ 複合用途防火対象物	5					1	2						2
	ロ 上記以外の防火対象物	3		1			1						1	
17	重要文化財・史跡等の建造物													
18	延長50m以上のアーケード													
専用住宅		21	3	1	2				4	4	2		3	2
併用住宅														
その他		29	2	1	1	5	5	4	2	2	5	2		

届出事務月別処理状況

令和4年度中

月別 区分	計	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
計	4,710	366	453	344	325	309	304	447	415	429	405	454	459
消防用設備等設置	229	10	11	15	8	18	22	23	16	35	16	31	24
消防用設備等点検結果	1,581	144	178	133	102	80	94	155	138	116	95	146	200
防火管理者選解任	250	38	40	25	16	22	10	12	14	19	15	19	20
消防計画	116	13	8	14	13	9	6	6	11	7	6	10	13
液化石油ガス貯蔵取扱	53	3	16	4	3	3	2	1	4	3	2	5	7
少量危険物貯蔵取扱	24	1			2	2	2	1		4	4	3	5
指定可燃物貯蔵取扱	3					2						1	
炉・ボイラー設備等設置	18	1	4			6			3		3	1	
変電・発電・蓄電池設備設置	68	3	8	2	22	5	5	3	3	4	8	3	2
給湯湯沸設備設置	16		2		1			7			3	2	1
乾燥設備設置	20			2	7		1			5	3	2	
ネオン管灯設備設置	1						1						
放電加工機設置	4								4				
催物開催	2			1				1					
防火対象物使用開始	107	4	7	7	8	9	11	8	12	5	12	8	16
禁止行為の解除承認	24	3	4	1	2	3	1	2	4	2	1		1
火災とまぎらわしい煙又は火炎を発生のおそれのある行為	1,022	54	55	35	44	59	67	125	102	129	145	120	87
道路工事	1,136	88	117	91	95	91	79	103	104	100	87	101	80
水道断（減）水	12	1	3	7			1						
煙火打上げ・仕掛け	55	3		7	14	9	3	7	2		5	2	3

4

危険物

令和4年度中、危険物施設の総数は前年度と比較して11施設減の382施設となりました。

これを貯蔵、取扱の形態別にみると貯蔵所が最も多く266施設で全体の約70%を占め、次いで取扱所114施設、製造所2施設の順になっています。貯蔵所の中では、地下タンク貯蔵所が93施設と最も多く設置されています。

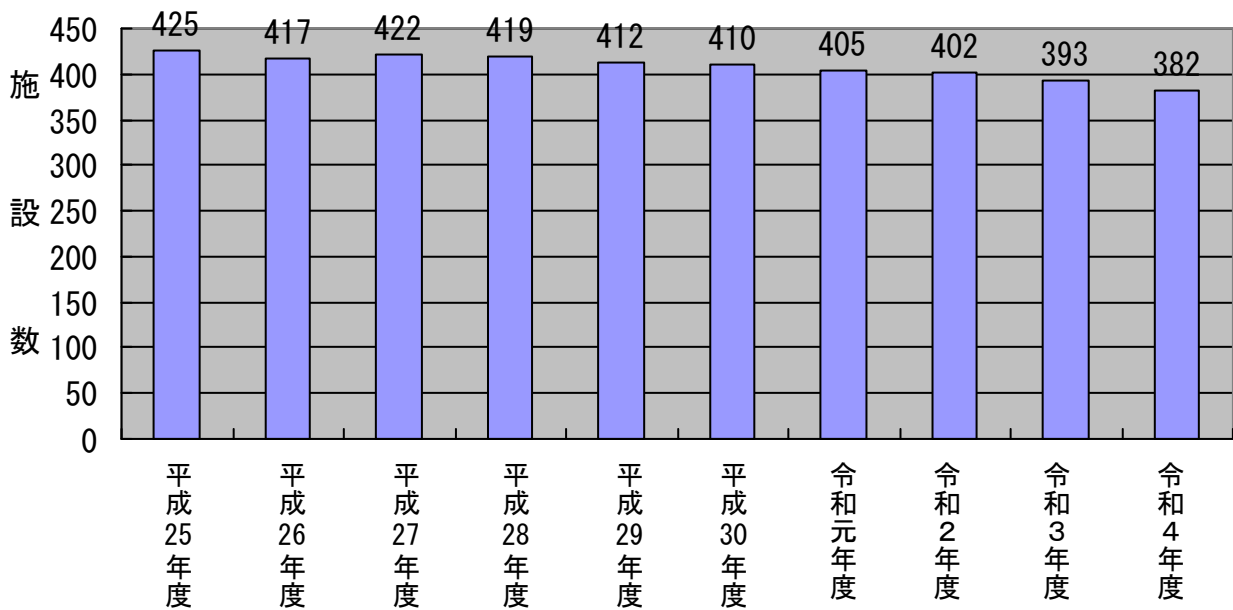


危険物施設 一般取扱所（発電設備）

過去10年間危険物施設別の推移

区分	年度別									
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
計	425	417	422	419	412	410	405	402	393	382
製造所	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
屋内貯蔵所	57	57	55	55	54	53	52	52	52	51
屋外タンク貯蔵所	49	45	46	46	43	42	40	40	39	39
屋内タンク貯蔵所	10	10	9	9	8	8	9	9	9	9
地下タンク貯蔵所	105	103	104	102	100	100	96	95	93	93
簡易タンク貯蔵所	3	3	2	2	2	3	3	3	3	3
移動タンク貯蔵所	62	63	67	67	68	71	73	72	69	64
屋外貯蔵所	8	8	8	8	8	8	9	9	8	7
給油取扱所	76	74	76	76	75	72	70	70	69	65
第1種販売取扱所	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
第2種販売取扱所										
一般取扱所	52	51	52	51	51	50	50	49	48	48

過去10年間の危険物施設数



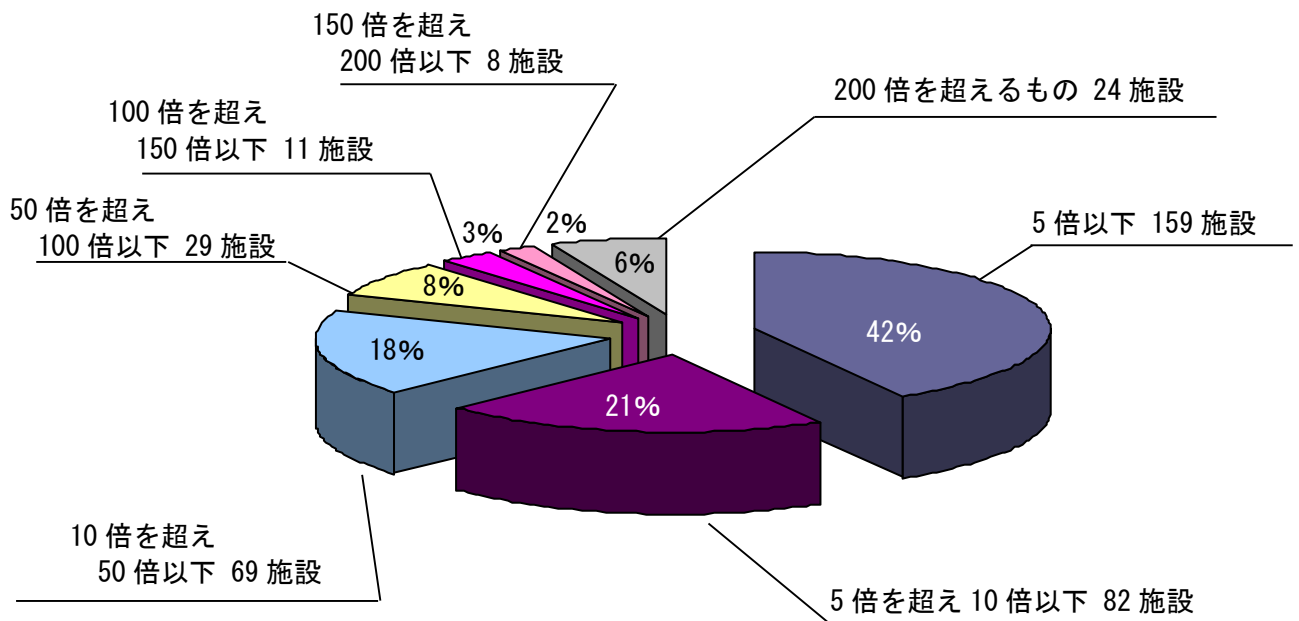
数量別危険物施設状況

令和5年4月1日現在

施設別 区分		計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所		
				屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	販 売	一 般
計		382	2	51	39	9	93	3	64	7	65	1	48
数 量 別	5倍以下	159	2	29	10	2	43	3	34	4	5	1	26
	5倍を超え10倍以下	82	0	11	8	4	34	0	5	2	8	0	10
	10倍を超え 50倍以下	69	0	8	16	3	14	0	7	1	12	0	8
	50倍を超え 100倍以下	29	0	3	1	0	1	0	15	0	8	0	1
	100倍を超え 150倍以下	11	0	0	0	0	0	0	3	0	7	0	1
	150倍を超え 200倍以下	8	0	0	1	0	1	0	0	0	6	0	0
	200倍を超えるもの	24	0	0	3	0	0	0	0	0	19	0	2

数量別危険物施設状況

総施設数 382施設



危険物施設許認可等申請状況

令和4年度中

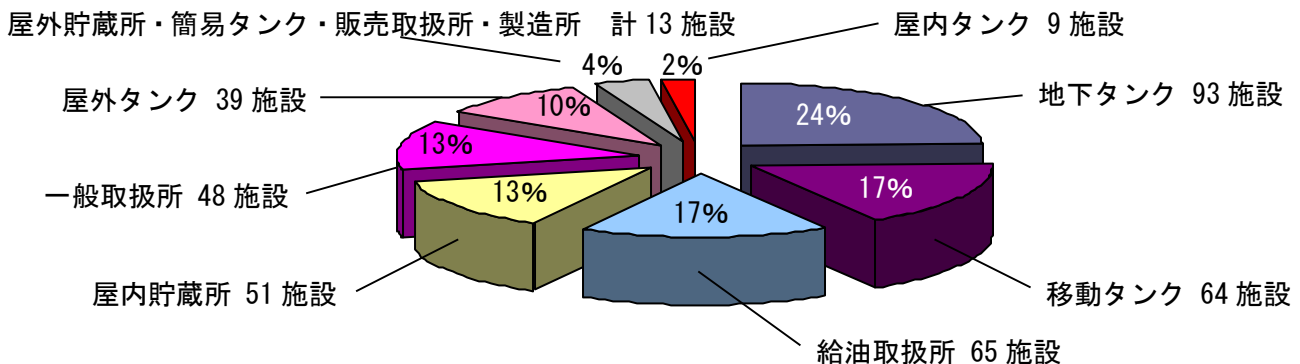
区分	申請別	計	設置許可	変更許可	検査	検査	前検査	仮承 使用認	予認 防規程可	仮承 貯取 蔵扱認
					設置 完成	変更 完成				
	計	54	2	12	3	11	2	8	11	5
	伊勢市	43	2	10	2	10		6	9	4
	玉城町	6			1		2		2	1
	度会町	5		2		1		2		

区分	申請別	計	設置許可	変更許可	検査	検査	前検査	仮承 使用認	予認 防規程可	
					設置 完成	変更 完成				
	計	49	2	12	3	11	2	8	11	
施設別	製造所									
	貯蔵所	屋内	1			1				
		屋外タンク	2					2		
		屋内タンク								
		地下タンク	3		1		1		1	
		簡易タンク								
		移動タンク	6	1	2	1	2			
	取扱所	給油	34	1	8	1	7		7	10
		販売								
		一般	3		1		1			1

危険物製造所等施設別設置状況

令和5年4月1日現在

施設別	計	製造所	貯蔵所							取扱所		
			屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	一般
施設数	382	2	51	39	9	93	3	64	7	65	1	48



危険物関係各種届出処理状況

令和4年度中

区分	施設別	計	製造所	貯蔵所						取扱所			
				屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	一般
譲渡引渡届		38		4	6		7		12		5		4
品名数量変更届		4					1				3		
廃止届		14		2					6	1	5		
危険物保安監督者選解任届		47		4	7		9	1		1	14		11
設置、変更の取止め届													
休止、再開届		1		1									
設置者の氏名又は住所変更届		23		7	2	1	6		1		2		4
危険作業の開始届		4			1		3						
資料提出		101			1		52		9		37		2

危険物製造所等立入検査状況

令和4年度中

施設別	計	製造所	貯蔵所						取扱所			
			屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	一般
件数	69	1	6	5	1	12	1	15	4	16		8

少量危険物及びプロパンガス施設数

令和5年4月1日現在

少量危険物施設数			プロパンガス施設数				
移動タンク	少量危険物	計	計	製造所 (充てん所)	消費用貯蔵施設 (300kg以上)	貯蔵所	
128	664	792	計	1,392	4	64	
103	562	665	伊勢市	1,175	4	54	
10	69	79	玉城町	166		4	
15	33	48	度会町	51		6	

5

火 災

令和4年中の当市消防本部管内における火災件数は42件で、前年と比べ1件の増加でした。火災による死者は7名、負傷者は6名でした。

火災件数を地域別にみると、伊勢市32件、玉城町8件、度会町2件でした。

火災種別は建物火災が24件、車両火災が6件、その他の火災が12件でした。

火災原因の第1位は、「こんろ」、第2位は「たき火」、「放火の疑い」でした。（「その他」、「不明・調査中」を除く。）



累年火災概況

区 分		令和 2 年			令和 3 年			令和 4 年		
		伊勢市	玉城町	度会町	伊勢市	玉城町	度会町	伊勢市	玉城町	度会町
火災 件数	建物	13	3	2	12	2		19	4	1
	林野		1			1				
	車両	4	1		1			3	2	1
	船舶・航空機									
	その他	6	2	1	18	4	3	10	2	
	小計	23	7	3	31	7	3	32	8	2
合計	33			41			42			
損害額 (千円)	建物	24,620	10,050	1,856	394,104	1,969		127,270	40,052	
	林野									
	車両	2,015	140		1,893			411	210	90
	船舶・航空機									
	その他	300			16		35			
	小計	26,935	10,190	1,856	396,013	1,969	35	127,681	40,262	90
合計	38,981			398,017			168,033			
建物焼損別	全焼	4	1		3			6	4	1
	半焼	1	1		2				1	
	部分焼			2	2	1		4		
	ぼや	8	1		5	1		10	1	
	小計	13	3	2	12	2		20	6	1
	合計	18			14			27		
死者	1	2		1			6		1	
負傷者	3		1	3	1	1	5	1		
火災発生間隔 (日)	15.9	52.1	121.7	11.8	52.1	121.7	11.4	45.6	182.5	
1件平均損害額 (千円)	1,171	1,456	619	12,775	281	12	3,990	5,033	45	
出動延人数 (人)	495	104	66	654	112	53	615	185	55	
出動延台数 (台)	168	35	22	229	40	20	231	65	20	
住民1人当たり損害 (円)	212	679	232	3,118	131	4	1,064	2,684	11	

月別火災概況

令和4年中

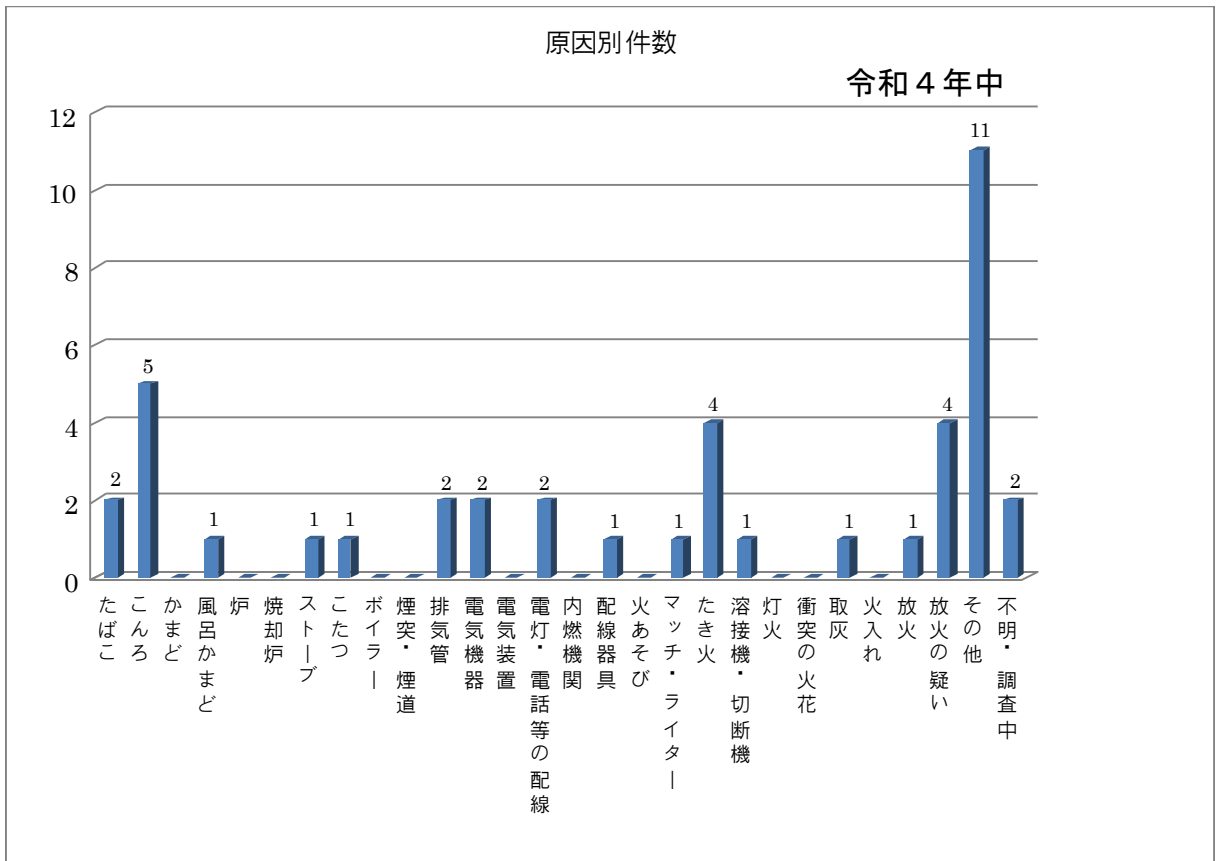
月		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
区分																
火災種別	火災件数	42	2	6	7	3	1	2	5	0	3	1	6	6		
	建物	件数	24	2	1	3	1	1	1	2	0	3	1	4	5	
		焼損棟数	全焼	23	1	1	2	2	2	0	2	0	4	7	0	2
			半焼	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
			部分焼	20	2	0	1	0	1	0	1	0	4	7	1	3
		ぼや	19	1	1	2	1	1	1	2	0	2	2	2	4	
	焼損面積(m ²)	1,126,583	75.32	0.09	128.68	0.003	37.4	0	211	0	204.08	248.03	75.58	146.4		
	り災世帯	34	2	1	4	1	2	1	4	0	3	9	3	4		
	り災人員	77	3	2	6	1	15	2	6	0	6	21	8	7		
	損害額(千円)	167,322	1,392	0	11,841	2	4,520	0	26,040	0	24,350	84,997	10,591	3,589		
	林野	件数														
		焼損面積(a)														
		損害額(千円)														
	車両	件数	6	0	2	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0	
		損害額(千円)	711	0	180	0	172	0	0	60	0	0	0	299	0	
	船舶	件数														
損害額(千円)																
その他	件数	12	0	3	4	0	0	1	2	0	0	0	1	1		
	損害額(千円)															
死傷者	死者	7	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	2		
	負傷者	6	0	1	0	0	0	1	1	0	1	1	1	0		
合計損害額(千円)		168,033	1,392	180	11,841	174	4,520	0	26,100	0	24,350	84,997	10,890	3,589		

火災種別・出火原因別件数

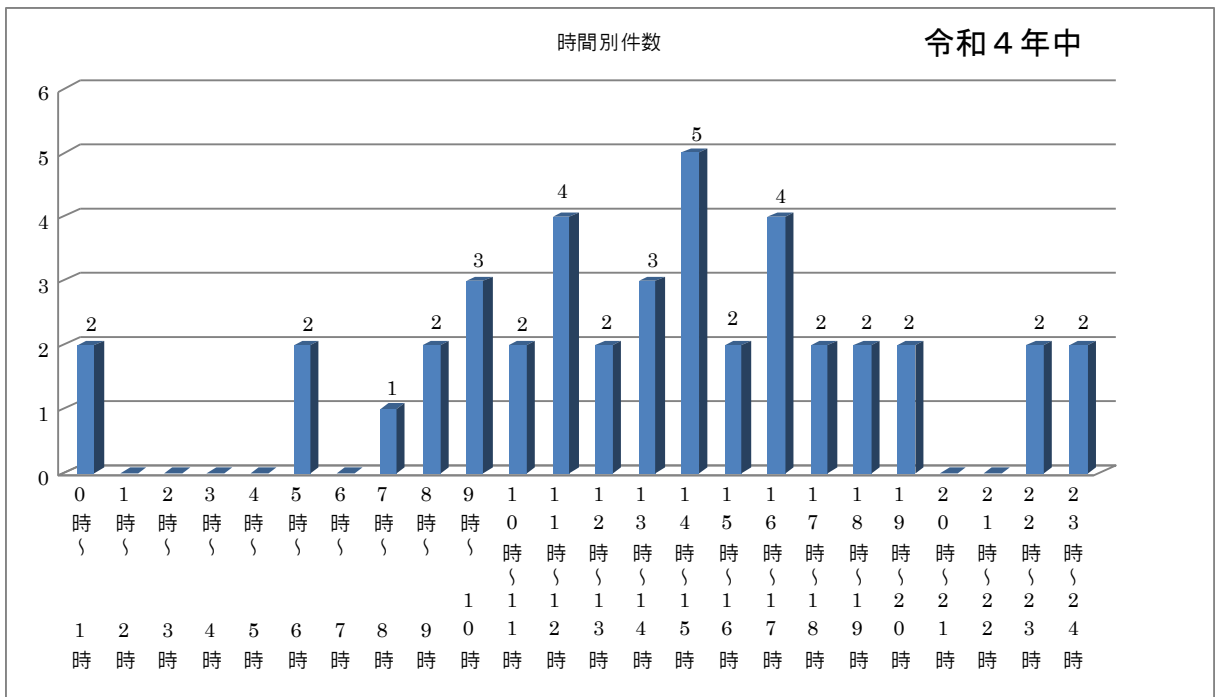
令和4年中

出火原因	火災種別				合計
	建物	車両	林野	その他	
たばこ	0	1	0	1	2
こんろ	5	0	0	0	5
かまど	0	0	0	0	0
風呂かまど	1	0	0	0	1
炉	0	0	0	0	0
焼却炉	0	0	0	0	0
ストーブ	1	0	0	0	1
こたつ	1	0	0	0	1
ボイラー	0	0	0	0	0
煙突・煙道	0	0	0	0	0
排気管	0	2	0	0	2
電気機器	2	0	0	0	2
電気装置	0	0	0	0	0
電灯・電話等の配線	2	0	0	0	2
内燃機関	0	0	0	0	0
配線器具	1	0	0	0	1
火あそび	0	0	0	0	0
マッチ・ライター	0	0	0	1	1
たき火	0	0	0	4	4
溶接機・切断機	1	0	0	0	1
灯火	0	0	0	0	0
衝突の火花	0	0	0	0	0
取灰	1	0	0	0	1
火入れ	0	0	0	0	0
放火	0	1	0	0	1
放火の疑い	1	0	0	3	4
その他	7	2	0	2	11
不明・調査中	1	0	0	1	2
合計	24	6	0	12	42

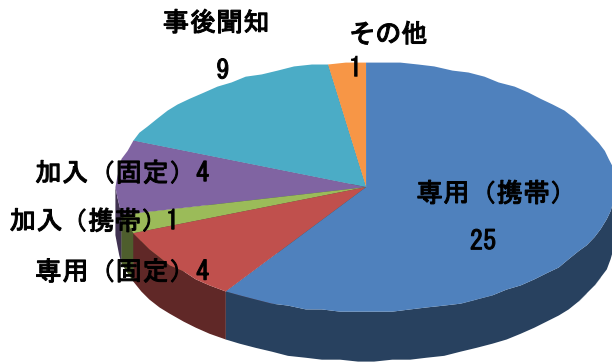
火災件数



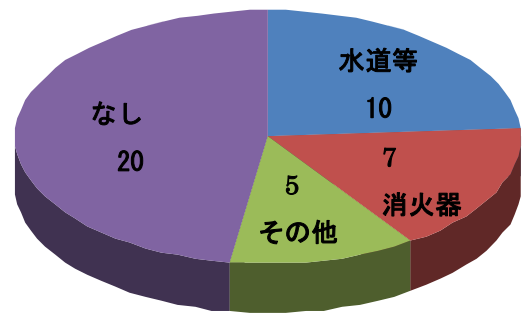
火災件数



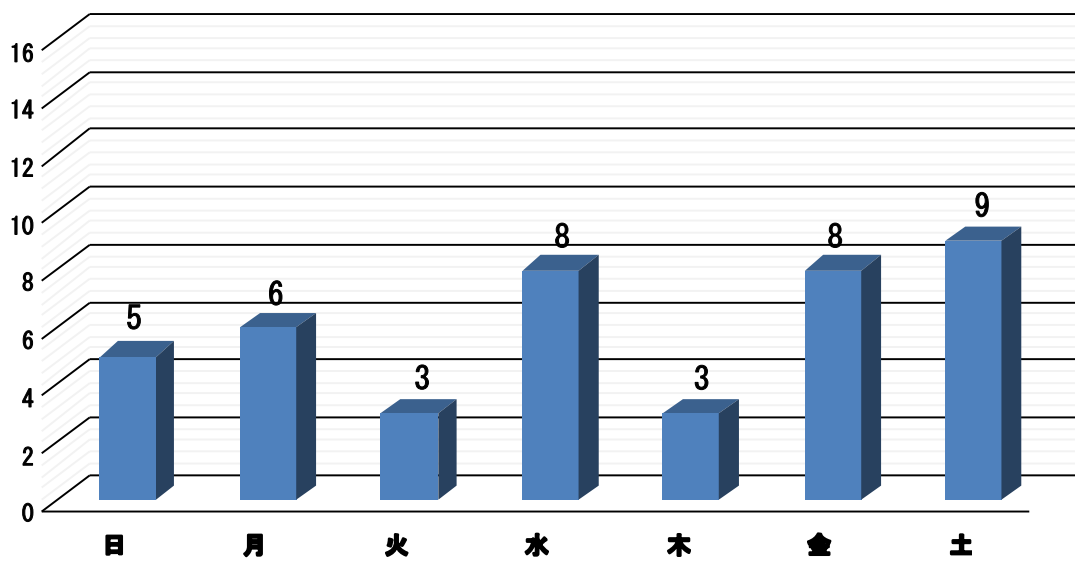
覚知別件数



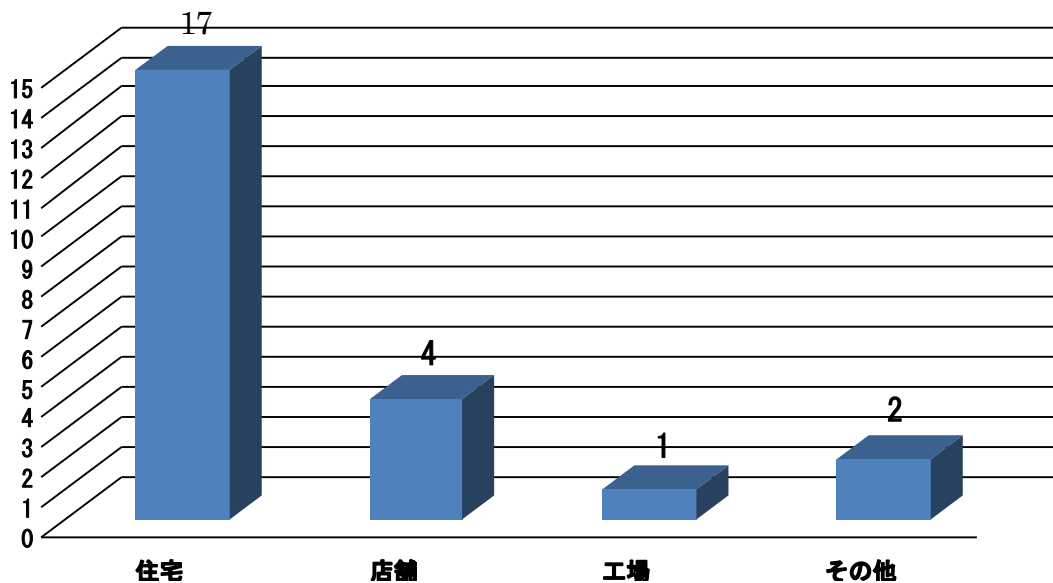
初期消火別件数



曜日別件数（※曜日不明2件）



建物火災における用途別件数



6

救急・救助

令和4年中の救急出動件数は9,172件、搬送人員は8,456人で、前年に比べ出動件数で1,467件、搬送人員で1,254人の増加となりました。

これは、伊勢市消防本部管内で1日平均約25.1件、57分に1件の割合で救急隊が出動したことになります。

また、高齢者（65歳以上）の搬送人員は5,638人で全体の約67%を占めています。

救急救助出動件数は95件で前年に比べ17件の増加となりました。



救助訓練の様子

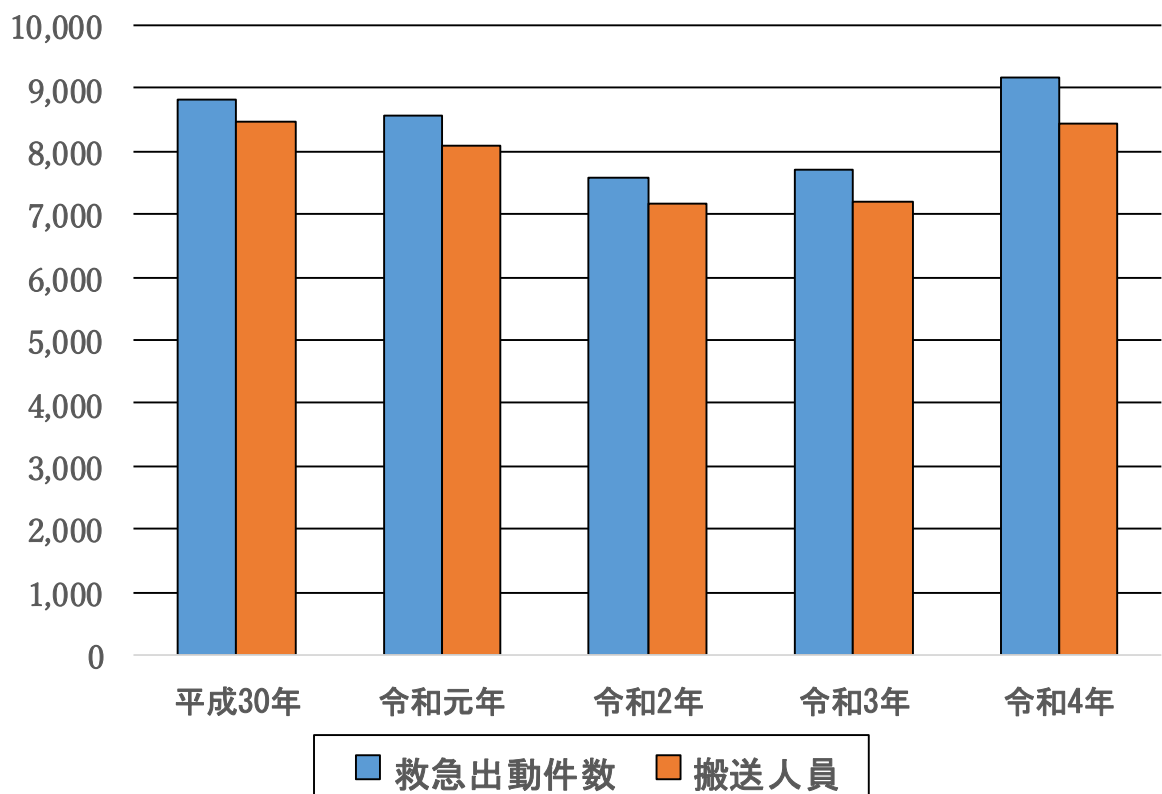
市町別月別救急出動件数

令和4年中

月別 市町別	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
伊勢市	7,832	642	513	609	557	615	569	695	847	690	656	637	802
玉城町	878	69	62	75	59	72	64	73	93	90	71	68	82
度会町	454	32	32	41	28	30	41	34	42	50	30	53	41
応援	8			1		1	1			2	1	1	1
合計	9,172	743	607	726	644	718	675	802	982	832	758	759	926

過去5年間の救急出動件数及び搬送人員

年別	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
救急出動件数	8,817	8,579	7,594	7,705	9,172
搬送人員	8,457	8,102	7,176	7,202	8,456



事故種別月別救急出動件数

令和4年中

事故種別 月別	計	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
1月	743	1		1	40	2	4	98		1	541	55
2月	607	5			33	3	5	91	1	3	417	49
3月	726	7		1	50	2	9	91		2	522	42
4月	644	3		1	52	5	7	86	1	3	433	53
5月	718	1			61	8	11	96	2	6	485	48
6月	675	1			41	5	4	113		1	470	40
7月	802	3		1	46	5	11	90	2	3	595	46
8月	982	1			59	12	14	118		5	717	56
9月	832	4	1		57	4	5	104	1	3	606	47
10月	758	2		2	52	3	11	114		3	534	37
11月	759	5		2	50	3	6	114	1	3	526	49
12月	926	6			57	3	6	152	3	4	640	55
合計	9,172	39	1	8	598	55	93	1,267	11	37	6,486	577

事故種別月別搬送人員

令和4年中

事故種別 月別	計	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
1月	695				39	2	4	94		1	507	48
2月	550				26	3	5	85	1	3	383	44
3月	670				44	2	8	87		1	487	41
4月	596				47	4	7	80	1	2	405	50
5月	688				58	8	11	94	2	4	465	46
6月	629	1			37	5	4	103		1	443	35
7月	741	1			40	5	10	86	2	1	556	40
8月	872				53	11	13	112		2	632	49
9月	772	1	1		54	4	5	101	1	2	560	43
10月	703	1		1	47	3	11	104		3	498	35
11月	702	1		1	50	3	6	106	1	1	494	39
12月	838				49	3	6	142	2	3	583	50
合計	8,456	5	1	2	544	53	90	1,194	10	24	6,013	520

事故種別時間別救急出動件数

令和4年中

事故種別 時間別	計	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
0時～2時	371	3		1	13	1		27		1	316	9
2時～4時	320				4			24	1	4	275	12
4時～6時	326	3		1	16			32	1	1	266	6
6時～8時	649	1			45	2		95	1	2	492	11
8時～10時	1,118	4	1	1	82	5	10	130	2	5	806	72
10時～12時	1,134	5		1	83	8	24	166	1	2	703	141
12時～14時	1,073	3		3	74	11	18	147	1	10	689	117
14時～16時	994	5			74	21	19	184	1	1	626	63
16時～18時	1,018	6			96	5	13	158	1	1	662	76
18時～20時	915	3			57	1	4	144	1	2	667	36
20時～22時	740	3			41		5	101		4	567	19
22時～24時	514	3		1	13	1		59	1	4	417	15
計	9,172	39	1	8	598	55	93	1,267	11	37	6,486	577

事故種別曜日別救急出動件数

令和4年中

事故種別 曜日別	計	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
月曜日	1,381	6	1	1	87	12	14	165	1	9	986	99
火曜日	1,262	4		1	94	9	10	184		7	853	100
水曜日	1,308	6		3	80	10	7	164	2	3	939	94
木曜日	1,206	2		1	75	8	5	166	2	5	879	63
金曜日	1,333	7			76	10	8	194		5	932	101
土曜日	1,357	10		1	96	3	28	203	3	5	927	81
日曜日	1,325	4		1	90	3	21	191	3	3	970	39
計	9,172	39	1	8	598	55	93	1,267	11	37	6,486	577

事故種別市町別救急出動件数

令和4年中

種別 \ 市町	伊勢市	玉城町	度会町	応援	合計
火災	31	6	2		39
自然災害	1				1
水難	7		1		8
交通事故	486	91	18	3	598
労働災害	46	6	3		55
運動競技	83	9	1		93
一般負傷	1,097	114	55	1	1,267
加害	8	3			11
自損行為	31	6			37
急病	5,525	592	365	4	6,486
その他	517	51	9		577
合計	7,832	878	454	8	9,172

年齢性別搬送人員

令和4年中

年齢(歳)	0~4	5~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80以上	合計
男	164	64	212	192	163	217	309	461	862	1,543	4,187
女	117	36	128	181	188	190	290	334	726	2,079	4,269
合計	281	100	340	373	351	407	599	795	1,588	3,622	8,456

事故種別程度別搬送人員

令和4年中

傷病程度 \ 種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死亡			2	5			25		1	324	26	383
重症	1	1		30	5		245		3	1,083	178	1,546
中等症	2			34	12	6	176		8	1,408	212	1,858
軽症	2			471	36	84	747	10	12	3,191	103	4,656
その他				4			1			7	1	13
合計	5	1	2	544	53	90	1,194	10	24	6,013	520	8,456

応急処置件数

令和4年中

事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
件数	30,777	2,861	5,938	3,381	42,957
処置項目					
止血	17	33	141	23	214
固定	21	242	106	31	400
人工呼吸	49		7	3	59
心マッサージ	50		8		58
心肺蘇生	151	1	20	4	176
酸素吸入	1,416	48	59	166	1,689
用手気道確保	187	2	21	5	215
保温	452	23	55	37	567
被覆	10	28	137	21	196
在宅療法継続	54		2	4	60
除細動	20		1	1	22
血糖測定	59			1	60
血圧測定	5,723	528	1,109	645	8,005
聴診器による心音等の聴取	5,024	448	907	517	6,896
血中酸素飽和濃度の測定	5,838	540	1,152	673	8,203
心電図	5,712	425	1,023	572	7,732
その他	5,994	543	1,190	678	8,405

救急救命処置実施件数

(医師の具体的な指示を受けなければならない処置)

令和4年中

事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
件数	267	4	24	7	302
処置項目					
器具による気道確保	10		1		11
静脈路確保	142	3	13	6	164
アドレナリン投与	99	1	10	1	111
ブドウ糖投与	16				16

月別傷病程度別搬送人員

令和4年中

月別		計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
傷病程度														
新生児	死亡													
	重症	7		1	1	1		1	1	1	1			
	中等症	10		3	1	2	2							2
	軽症	3	1				1			1				
	その他													
	計	20	1	4	2	3	3	1	1	2	1			2
乳幼児	死亡													
	重症	3	1				1	1						
	中等症	39	2	1	2	5	3	3	6	5	4	3	2	3
	軽症	272	11	7	20	19	22	20	28	42	24	26	16	37
	その他	2							1			1		
	計	316	14	8	22	24	26	24	35	47	28	30	18	40
少年	死亡													
	重症	5			2		1	1						1
	中等症	16	3	2	1		2		1	1		1	3	2
	軽症	286	16	9	21	13	23	18	43	40	27	28	24	24
	その他	2											2	
	計	309	19	11	24	13	26	19	44	41	27	29	29	27
成人	死亡	30	1	2	2	1	4	3	2	4	3	2	3	3
	重症	177	13	17	19	14	9	18	12	22	19	11	8	15
	中等症	390	24	24	25	29	31	31	27	38	31	46	35	49
	軽症	1,572	117	82	112	122	142	113	149	213	122	119	136	145
	その他	4			2					1				1
	計	2,173	155	125	160	166	186	165	190	278	175	178	182	213
高齢者	死亡	353	38	44	31	20	25	22	31	33	25	37	26	21
	重症	1,354	125	101	125	95	102	99	102	95	135	93	126	156
	中等症	1,403	123	103	94	95	100	109	118	119	138	120	130	154
	軽症	2,523	220	154	212	178	219	190	220	257	243	216	190	224
	その他	5				2	1						1	1
	計	5,638	506	402	462	390	447	420	471	504	541	466	473	556
合計	死亡	383	39	46	33	21	29	25	33	37	28	39	29	24
	重症	1,546	139	119	147	110	113	120	115	118	155	104	134	172
	中等症	1,858	152	133	123	131	138	143	152	163	173	170	170	210
	軽症	4,656	365	252	365	332	407	341	440	553	416	389	366	430
	その他	13			2	2	1		1	1		1	3	2
	計	8,456	695	550	670	596	688	629	741	872	772	703	702	838

市町別月別救助出動件数

令和4年中

市町別	月 別												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
伊 勢 市	9	3	12	3	8	6	7	6	4	5	9	6	78
玉 城 町	1	2	3	0	1	1	1	1	2	0	0	0	12
度 会 町	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	4
応 援	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合 計	10	5	16	4	9	8	9	7	6	5	10	6	95

事故種別月別救助出動件数

令和4年中

事故種別	月 別												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火 災	1	0	1	1	0	0	1	0	1	1	0	1	7
交 通 事 故	5	2	10	2	5	6	3	4	3	2	3	4	49
水 難 事 故	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	2	0	6
風 水 害 等 自 然 災 害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
機 械 に よ る 事 故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
建 物 等 に よ る 事 故	2	3	2	0	2	1	1	3	0	0	2	1	17
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
破 裂 事 故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他 の 事 故	2	0	2	0	2	1	4	0	2	0	1	0	14
合 計	10	5	16	4	9	8	9	7	6	5	10	6	95

事故種別救助出動状況

令和4年中

事故種別 区分	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 災 害	自 然 災 害	機 械 よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
救助出動件数	7	49	6	0	0	2	17	0	0	14	95
救助人員	8	33	2	0	0	0	15	0	0	7	65

市町別救助出動状況

令和4年中

市町別 区分	伊勢市	玉城町	度会町	応援	合計
救助出動件数	78	12	4	1	95
救助人員	55	8	2	0	65

月別救助出動状況

令和4年中

月別 区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
救助出動件数	10	5	16	4	9	8	9	7	6	5	10	6	95
救助人員	6	4	12	3	6	4	4	6	3	5	6	6	65

過去5年間の救助出動状況

年別 区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
救助出動件数	47	74	70	78	95
救助人員	33	59	36	55	65

7

消 防 団

当市消防団は、市町村合併により、平成 17 年 11 月 1 日に伊勢市消防団、二見町消防団、小俣町消防団、御薊村消防団の 4 団が統合し、団員定数 559 名、消防車両 49 台の新「伊勢市消防団」として誕生しました。

また、平成 20 年 4 月 1 日には、1 本部、7 方面隊、22 分団に組織を再編しました。

当消防本部管内には、伊勢市のほか、玉城町消防団、度会町消防団の 2 団が組織されています。

女性消防団員は、伊勢市消防団 16 名、玉城町消防団 5 名が活躍しています。



消防団出初式
令和 5 年 1 月 15 日

階級別勤続年数

令和5年4月1日現在

階級 年数	計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
計	504(16)	1	8(1)	23(1)	48(2)	48(1)	48(2)	328(9)
1年未満	14(1)							14(1)
1年以上5年未満	67(1)					1	6(1)	60
5年以上10年未満	126(9)				7(2)	7	11(1)	101(6)
10年以上15年未満	100(3)			2(1)	13	10(1)	11	64(1)
15年以上20年未満	63(1)			6	4	12	7	34(1)
20年以上25年未満	66			5	8	7	7	39
25年以上30年未満	45(1)		2(1)	5	11	10	6	11
30年以上	23	1	6	5	5	1		5
平均年数	13.4	40.0	35.3	23.6	18.7	17.4	13.8	10.6

()内は、女性消防団員の内数

階級別年齢構成

令和5年4月1日現在

階級 年齢	計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
計	504(16)	1	8(1)	23(1)	48(2)	48(1)	48(2)	328(9)
20歳未満	1(1)							1(1)
20歳以上25歳未満	11							11
25歳以上30歳未満	24(1)							24(1)
30歳以上35歳未満	33(1)					1	1	31(1)
35歳以上40歳未満	68(4)				5(1)	4	12(1)	47(2)
40歳以上45歳未満	89(2)			2	4	4(1)	6	73(1)
45歳以上50歳未満	110(2)			1	9	14	13	73(2)
50歳以上55歳未満	90			4	18	14	10	44
55歳以上60歳未満	64(4)		1	12(1)	11(1)	11	6(1)	23(1)
60歳以上	14(1)	1	7(1)	4	1			1
平均年齢	44.9	68.0	62.6	55.2	50.3	49.4	45.9	42.1

()内は、女性消防団員の内数

消防機械の状況

種 別	指揮本部車	救助資機材 搭載型積載車	積 載 車	軽積載車	消防ポンプ 自 動 車	小 型 動 力 ポ ン プ
台	2	2	32	10	3	45

所 属		区 分	種 別	登 録 番 号	車 名	年 式	動 力 ポ ン プ
団 本 部			本 部 車	三重800す9195	日 産	H25.10	D-1
団 本 部			指 揮 車	三重800す1725	スズキ	H17.10	-
第1方面隊	西豊浜分団		積 載 車	伊勢志摩810さ2101	トヨタ	R 4. 3	B-3
	東豊浜分団		積 載 車	伊勢志摩810さ2111	日 産	R 3. 3	B-3
	北浜分団	有 滝 班	積 載 車	三重800す9296	日 産	H25.12	B-3
		村 松 班	積 載 車	伊勢志摩810さ2131	トヨタ	R 4. 3	B-3
	東大淀分団	東大淀班	積 載 車	三重800す8040	日 産	H24. 3	B-3
		柏 班	積 載 車	三重800す9976	日 産	H26.11	B-3
第2方面隊	大湊分団		積 載 車	三重800す6269	日 産	H21.11	B-3
	神社分団		積 載 車	伊勢志摩810さ2172	日 産	R 3. 3	B-3
	御菌分団	御菌第1班	積 載 車	伊勢志摩810さ2182	トヨタ	R 5. 1	B-3
		御菌第2班	積 載 車	三重800す9297	日 産	H25.12	B-3
		御菌第3班	積 載 車	三重800せ710	日 産	H27.11	B-3
第3方面隊	二見分団	二見第1班	軽 積 載 車	三重880あ1399	ダイハツ	H24.12	B-3
		二見第1班	積 載 車	三重800す6267	日 産	H21.11	B-3
		二見第2班	救助資機材搭載型積載車	伊勢志摩800さ238	いすゞ	R 4. 3	B-2
		二見第2班	積 載 車	三重800す6268	日 産	H21.11	B-3
		二見第3班	積 載 車	三重800せ725	日 産	H27.11	B-3
		二見第3班	積 載 車	三重800す8039	日 産	H24. 3	B-3
		二見第4班	積 載 車	三重800す8576	日 産	H24.12	B-3
		二見第4班	軽 積 載 車	三重880あ2670	ダイハツ	R 2. 1	B-3
	今一色分団		軽 積 載 車	三重880あ2669	ダイハツ	R 2. 1	B-3

令和5年4月1日現在

所 属		区 分		種 別	登 録 番 号	車 名	年 式	動 力 ポンプ	
第4方面隊	小俣分団	小俣第1班		消防ポンプ自動車	三重800さ2180	いすゞ	H12.3	A-2	
		小俣第2班		消防ポンプ自動車	三重800さ9238	日野	H16.2	A-2	
		小俣第3班		救助資機材搭載型積載車	三重800せ147	いすゞ	H27.2	B-2	
	明野分団				消防ポンプ自動車	三重800す2273	いすゞ	H18.2	A-2
	城田分団	上地班		積 載 車	三重800せ2873	日産	H30.11	B-3	
		栗野班		積 載 車	三重800す9985	日産	H26.11	B-3	
		中須班		積 載 車	伊勢志摩810さ2364	トヨタ	R 5.1	B-3	
第5方面隊	有緝分団				積 載 車	伊勢志摩810さ2375	日産	R 3.3	B-3
	厚生・早修分団				積 載 車	三重800す7154	日産	H22.11	B-3
	中島分団				積 載 車	三重800せ1506	日産	H28.12	B-3
	修道・明倫分団				積 載 車	三重800せ2250	日産	H29.12	B-3
第6方面隊	進修分団				積 載 車	三重800せ711	日産	H27.11	B-3
	四郷分団	楠部班		積 載 車	三重800す7994	日産	H24.2	B-3	
		一字田班		軽 積 載 車	三重880あ2152	ダイハツ	H29.1	B-3	
		朝熊班1		積 載 車	伊勢志摩810さ2446	トヨタ	R 4.3	B-3	
		朝熊班2		軽 積 載 車	三重880あ2668	ダイハツ	R 2.1	B-3	
		鹿海班		軽 積 載 車	三重880あ2461	ダイハツ	H30.10	B-3	
	浜郷分団	黒瀬班		積 載 車	三重800す9977	日産	H26.11	B-3	
		一色班		積 載 車	三重800す3348	日産	H18.11	B-3	
	第7方面隊	宮山分団				積 載 車	伊勢志摩810さ2497	トヨタ	R 4.3
佐八分団		佐八班		積 載 車	三重800す3350	日産	H18.11	B-3	
		津村班		積 載 車	三重800す8577	日産	H24.12	B-3	
上野分団		上野班		積 載 車	三重800せ1507	日産	H28.12	B-3	
		円座班		軽 積 載 車	三重880あ2302	ダイハツ	H29.11	B-3	
		神菌班		軽 積 載 車	三重880あ2462	ダイハツ	H30.10	B-3	
		横輪班		軽 積 載 車	三重880あ2671	ダイハツ	R 2.1	B-3	
	矢持班		軽 積 載 車	三重880あ2303	ダイハツ	H29.11	B-3		

消防団車庫

47棟

令和5年4月1日現在

名	称	建 築 年 月 日	建 物 構 造	延べ面 積(m ²)	所 有 者	乾 燥 塔	待 機 室	便 所	湯 沸	
第1方面隊	西豊浜分団	平成17年 3月25日	W造2F	55.40	伊勢市	有	有	有	有	
	東豊浜分団	平成13年 3月21日	W造2F	53.70	伊勢市	有	有	有	有	
	北浜分団	有滝班	平成29年 3月29日	W造2F	57.63	伊勢市	有	有	有	有
		村松班	昭和54年12月25日※1	S造2F	63.00	伊勢市	有	有	有	有
	東大淀分団	東大淀班	平成15年 9月18日	W造2F	54.60	伊勢市	有	有	有	有
柏 班		平成18年 1月27日	S造2F	57.70	伊勢市	有	有	有	有	
第2方面隊	大湊分団	平成12年 3月17日	W造1F	46.37	伊勢市	有	有	有	有	
	神社分団	平成14年 3月15日	W造1F	53.00	伊勢市	有	有	有	有	
	御園分団	御園第1班	昭和54年11月※2	S造1F	53.22	伊勢市	有	有	有	有
		御園第2班	令和 2年 3月16日	W造2F	54.23	伊勢市	有	有	有	有
		御園第3班	平成30年 3月22日	W造2F	54.89	伊勢市	有	有	有	有
第3方面隊	二見分団	二見第1班	平成28年 3月23日	W造2F	54.89	伊勢市	有	有	有	有
		二見第1班	令和 4年 3月25日	W造2F	57.62	伊勢市	有	有	有	有
		二見第2班	昭和54年11月	RC造2F	103.70	二見町茶屋区	有			
		二見第2班	令和 3年 3月30日	W造2F	55.71	伊勢市	有	有	有	有
		二見第3班	平成24年 2月28日	W造1F	26.50	伊勢市	有		有	
		二見第3班	不 詳	S造1F	不 詳	伊勢市	有			
		二見第4班	平成12年 3月	RC造2F	不 詳	伊勢市	有			
		二見第4班	平成24年 2月16日	W造1F	23.19	伊勢市	有		有	
	今一色分団	平成21年12月 1日	RC造2F	30.00	伊勢市	有		有		
第4方面隊	小俣分団	小俣第1班	昭和48年 3月31日	S造1F	94.85	伊勢市	有			
		小俣第2班	平成23年 6月24日	S造2F	76.60	伊勢市		有	有	有
		小俣第3班	平成25年 3月21日	S造2F	77.49	伊勢市	有	有	有	有
	明野分団	昭和63年10月31日	S造1F	44.00	伊勢市	有				

令和5年4月1日現在

名	称	建 築 年 月 日	建 物 構 造	延べ面 積(m ²)	所 有 者	乾 燥 塔	待 機 室	便 所	湯 沸
第4方面隊	城田分団	上地班	平成17年3月25日	W造2F	57.60	伊勢市	有	有	有
		栗野班	平成15年3月19日	W造2F	54.40	伊勢市	有	有	有
		中須班	平成17年3月25日	W造1F	46.37	伊勢市	有	有	有
第5方面隊	有緝分団		平成23年3月28日	W造1F	56.31	伊勢市		有	有
	厚生・早修分団		平成27年3月19日	W造2F	57.63	伊勢市		有	有
	中島分団		平成21年3月13日	W造1F	46.40	伊勢市	有	有	有
	修道・明倫分団		平成13年3月26日	W造1F	43.06	伊勢市	有	有	有
第6方面隊	進修分団		平成2年11月30日	S造一部W造	54.31	伊勢市	有	有	有
	四郷分団	楠部班	平成22年3月15日	W造1F	46.37	伊勢市	有	有	有
		一字田班	不詳	S造1F	不詳	一字田町			
		朝熊班1	昭和61年7月31日	S造2F	40.50	伊勢市	有	有	有
		朝熊班2	平成15年3月27日	2次製品	12.93	伊勢市	有		
		鹿海班	平成16年1月13日	2次製品	12.93	伊勢市			
	浜郷分団	黒瀬班	平成14年3月15日	W造2F	54.37	伊勢市	有	有	有
		一色班	平成14年3月15日	W造2F	53.00	伊勢市	有	有	有
第7方面隊	宮山分団		不詳	S造1F	28.49	前山町	有	有	有
	佐八分団	佐八班	昭和49年7月25日	S造1F	29.16	伊勢市		有	
		津村班	平成16年3月15日	W造1F	39.75	伊勢市	有	有	
	上野分団	上野班	平成11年2月26日	S造1F	60.00	伊勢市	有	有	有
		円座班	平成12年3月15日	W造1F	40.58	伊勢市	有	有	有
		神藪班	平成12年3月15日	2次製品	10.61	伊勢市			
		横輪班	平成12年3月15日	W造1F	40.58	伊勢市	有	有	有
矢持班	平成20年2月29日	W造1F	151.46	伊勢市	有	有	有		

※1 第1方面隊北浜分団村松班については、平成25年3月14日に全面改修

※2 第2方面隊御藪分団御藪第1班については、平成31年3月15日に全面改修

団員職業構成

令和5年4月1日現在

区分 所属	計	農 業	漁 業	建 設 業	製 造 業	電 気 ・ ガ ス	熱 供 給 ・ 水 道 業	運 輸 ・ 通 信 業	卸 売 ・ 小 売 業	飲 食 店	金 融 ・ 保 險 業	不 動 産 業	サ ー ビ ス 業	公 務 員	特 殊 法 人 等	そ の 他
団本部	18	1		2	3				3		1		4	1		3
西豊浜分団	11	4			3			1					3			
東豊浜分団	10			1	2			2	1				2		2	
北浜分団	23			5	8	2							3		1	4
東大淀分団	16	1		1	4	1	1	1	1				1	1	1	4
大湊分団	12			2	5			1	1				1			2
神社分団	14			1	6	1	1	1						1	1	3
御藪分団	62			7	19	3	4	4	6	1			2	8	5	7
二見分団	68	5		9	15	3	4	4	3	1			8	11	1	8
今一色分団	9					1			1				4		1	2
小俣分団	38			2	5			2	3				7	8	4	7
明野分団	14			1	4			1					5	1		2
城田分団	31	3		2	13			3	1	1			3	1	2	2
有緝分団	14			1	4			2	2			1	2	2		
厚生・早修分団	13			3	3				3				2	2		
中島分団	7				5								1		1	
修道・明倫分団	13			2	3				4				2			2
進修分団	19			1	4			4	4				3		1	2
四郷分団	34			10	7	1	5	5	2				1	1	1	6
浜郷分団	26			7	8				1				2	1	2	5
宮山分団	9			1	6			2								
佐八分団	20			2	9				3	1			1	2		2
上野分団	23			1	10			4	1				1		2	4
合 計	504	14		61	146	12	37	40	40	5	1	58	40	25	65	
割合(%)	100	2.8		12.1	29.0	2.4	7.3	7.9	7.9	1.0	0.2	11.5	7.9	5.0	12.9	

就業形態

令和5年4月1日現在

計	被用者	自営業者	家族従業者	その他
504	398	71	25	10
100%	79.0%	14.1%	4.9%	2.0%

出動件数

年度 区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	件数	人員	件数	人員	件数	人員
機械器具点検	12	4,035	12	4,175	12	3,923
災害出動	39	706	38	751	32	512
講習	7	19	21	123	33	270
訓練	0	0	1	124	9	478
警備・警戒	0	0	0	0	26	198
広報	43	418	64	597	134	1,367
計	101	5,178	136	5,770	246	6,748

女性消防団員出動件数

年度 区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
救急法指導	41	0	0	41
予防広報	18	1	1	4
研修・会議	18	2	3	13

報酬

年額報酬

令和5年4月1日現在

団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
84,500 円	71,000 円	52,500 円	47,500 円	39,000 円	39,000 円	38,000 円

出動報酬

区 分	金 額	要 件 等
災 害	8,000 円	火災出動、水防出動、人命救助出動等の災害出動 (活動時間 1 時間以上)
警 戒	5,000 円	危険箇所警ら、災害被害調査等の災害警戒出動 (警戒・警ら時間 2 時間以上)
訓 練	5,000 円	市防災訓練、夏期訓練、出初式等の総合訓練
その他	4,000 円	災害出動の活動時間 1 時間未満 災害警戒出動の警戒・警ら時間 2 時間未満 会議・打合せ(会議時間 2 時間以上) 救急法指導 消防学校入校 予防広報、防火キャンペーン等の広報活動 年末警備、催物警備等 行方不明者等の搜索 機械器具点検(点検時間 2 時間以上) 自主訓練(訓練時間 2 時間以上) その他(活動時間 2 時間以上)
摘 要		<ul style="list-style-type: none"> ・ 火災出動、水防出動、人命救助出動等の災害出動の活動時間が 1 時間未満の日には、4,000 円とする。 ・ 会議時間、点検時間、訓練時間、その他活動等の時間が 2 時間未満は、出動報酬を 1/2 とする。 ・ 機械器具点検と自主訓練を一体として実施した場合は、主となる一方の出動報酬を支給する。 ・ 消防長の命のない所管区域外への災害・警戒出動は、出動報酬の対象とならない。

消防団現勢

伊勢市消防団

令和5年4月1日現在

階級 所属		計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
計		504 (16)	1	8 (1)	23 (1)	48 (2)	48 (1)	48 (2)	328 (9)
団本部		18 (10)	1	8 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	5 (5)
第1方面隊	西豊浜分団	11			1	1	1	1	7
	東豊浜分団	10			1	1	1	1	6
	北浜分団	23 (1)			1	2	2	2	16 (1)
	東大淀分団	16			1	2	2	2	9
第2方面隊	大湊分団	12 (1)			1	1	1	1	8 (1)
	神社分団	14			1	1	1	1	10
	御園分団	62 (1)			1	3	3	3	52 (1)
第3方面隊	二見分団	68 (1)			1	8 (1)	8	8	43
	今一色分団	9			1	1	1	1	5
第4方面隊	小俣分団	38			1	3	3	3	28
	明野分団	14			1	1	1	1	10
	城田分団	31			1	3	3	3	21
第5方面隊	有緝分団	14			1	1	1	1	10
	厚生・早修分団	13			1	1	1	1	9
	中島分団	7			1	1	1	1	3
	修道・明倫分団	13 (1)			1	1	1	1	9 (1)
第6方面隊	進修分団	19			1	1	1	1	15
	四郷分団	34			1	5	5	5	18
	浜郷分団	26			1	2	2	2	19
第7方面隊	宮山分団	9			1	1	1	1	5
	佐八分団	20			1	2	2	2	13
	上野分団	23 (1)			1	5	5	5 (1)	7

()内は、女性消防団員の内数

広域消防団現勢

玉城町消防団

令和5年4月1日現在

所属 \ 階級	実員	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	指揮車	水槽付ポンプ自動車	消防ポンプ自動車	小型動力付車	積載付車	小型動力ポンプ
計	66(7)	1	1	4			6(1)	54(6)	1	1	1		3	3
団本部	9(7)	1	1				1(1)	6(6)	1					2
第1分団	14			1			2	11		1	1			1
第2分団	15			1			1	13					1	
第3分団	14			1			1	12					1	
第4分団	14			1			1	12					1	

()内は、女性消防団員の内数

度会町消防団

令和5年4月1日現在

所属 \ 階級	実員	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	水槽付ポンプ自動車	消防ポンプ自動車	小型動力付車	積載付車	小型動力ポンプ
計	165	1	1	5	5	1	35	117		1	1		39
団本部	2	1	1							1	1		1
第1分団	31			1	1		7	22					7
第2分団	32			1	1		8	22					8
第3分団	40			1	1	1	7	30					9
第4分団	31			1	1		6	23					6
第5分団	23			1	1		7	14					7
機能別分団	6							6					